



平成29年度 教育要覧

深谷市の教育



木造大日如来坐像

Mokuzou dainichi nyorai zazou



深谷市教育委員会

[表紙の説明]

け ぞう じ 華蔵寺

華蔵寺は、深谷市の一部を含む上野国新田莊を本拠とした新田義兼^{にっ ち た よ し か ね}が、建久5年（1194年）に開いたとされる寺院です。

当寺には、市指定有形文化財である大日堂なども現存しています。

もく ぞう だ い に ち に よ ら い ざ ぞう 木造大日如来坐像

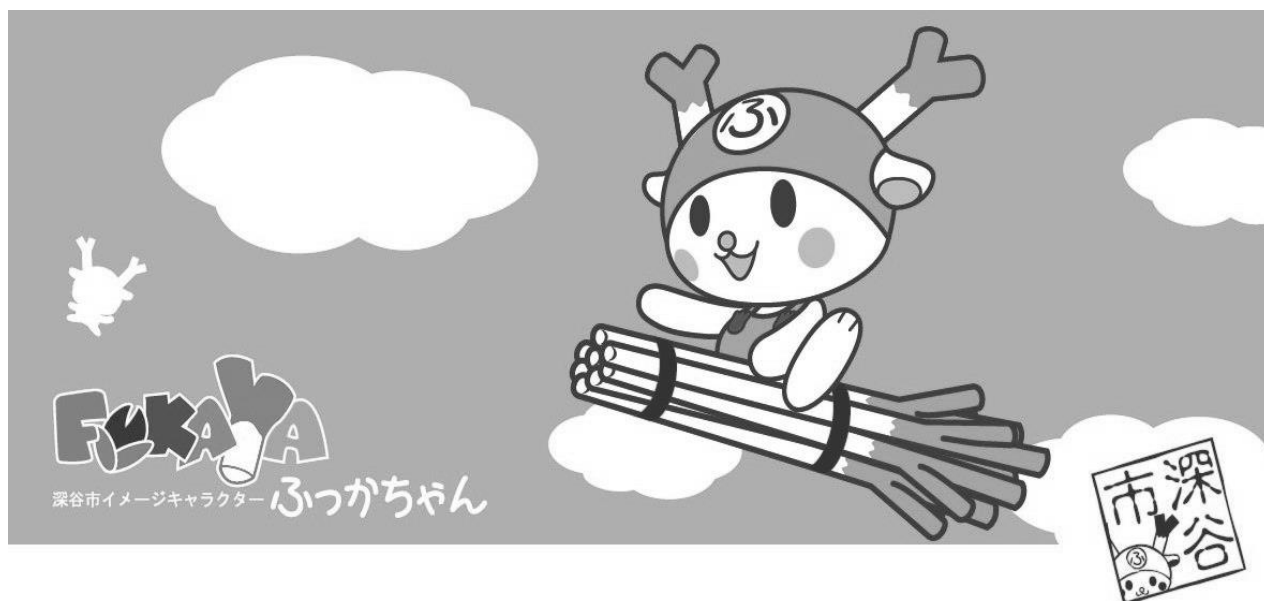
華蔵寺に安置されている本像は、鎌倉時代の武将・新田義兼^{にっ ち た よ し か ね}の守り本尊と伝わっており、12世紀後半に製作されたと推定されます。

ヒノキ材の寄木造で、定朝^{じょう ち ょ う}様式にならい、都風に洗練された出来ばえです。

古代末から中世の新田莊に展開した仏教文化の一端を知る資料として貴重なものであり、2017年3月24日付で埼玉県の有形文化財に指定されました。

目 次

深谷市の概況	1	4. 進路	30
深谷市教育委員会教育長及び委員	2	5. 深谷市立教育研究所	31
I 教 育 行 財 政	3～20	6. 小学校・中学校紹介	34
1. 深谷市が目指す教育の姿	3	7. 幼稚園教育	44
平成29年度深谷市教育委員会重点施策	6	III 社 会 教 育	49～67
2. 事務局の組織及び事務分掌	17	1. 深谷市の社会教育の概要	49
3. 事務局及び教育機関職員数	18	2. 重点施策	49
4. 平成29年度一般会計予算、教育費（歳出）	18	3. 渋沢栄一記念館・公民館・文化会館紹介	51
5. 平成29年度教育費内訳、財源内訳（当初予算）	18	4. 平成29年度推進事業一覧	59
6. 教育費（当初予算）	19	5. 重要文化財など	62
7. 児童生徒1人当たりの教育費（当初予算）	19	6. 深谷市内所在文化財など件数一覧	67
8. 就学援助状況（平成28年度実績）	19	IV 図 書 館	68～73
9. 学校給食の状況	20	1. 施設の概要	68
II 学 校 教 育	21～48	2. 図書館運営の基本方針	69
1. 重点施策	21	3. 業務の概要	70
2. 児童・生徒・教職員数の推移	26	4. 分類別蔵書数	73
深谷市学校教育グランドデザイン	27	5. 平成28年度利用状況	73
3. 学校保健	29	V 社 会 体 育	74～80
		1. 社会体育計画の概要	74
		2. 重点施策	74
		3. 平成29年度社会体育関係事業	75
		4. 社会体育施設の概要	76



深谷市の概況



(1) 位置と地勢

平成18年1月1日、深谷市、岡部町、川本町、花園町がひとつになり誕生した新「深谷市」は、埼玉県北西部に位置し東京都心から70km 圏にあり、東は熊谷市に、南は嵐山町、寄居町に、西は美里町、本庄市に、北は群馬県の伊勢崎市、太田市に接しています。

また、北部は利根川水系の低地で、南部は秩父山地から流れ出た荒川が扇状台地を形成する平坦な地形となっています。

交通の面では、関越自動車道、国道17号・同深谷バイパス・上武国道、国道140号・同バイパス、国道254号などがあり、広域間の基幹的役割を果たす道路として機能しています。また、地域の玄関口として関越自動車道花園インターチェンジが設置されているほか、嵐山小川、本庄児玉のインターチェンジに近接しています。また、鉄道は JR 高崎線、秩父鉄道の2路線において駅を有するとともに、上越新幹線及び JR 八高線が通過し、上越新幹線本庄早稲田駅にも近接していることから、東京都心方面、上信越方面、秩父方面への交通の要衝となっています。



(2) 人口と面積

平成29年4月1日現在

人 口 (男・女) (人)	世帯数(世帯)	面積(km ²)	人口密度 (人/km ²)
144,425 (男 72,085 女 72,340)	58,299	138.41	1,043

深谷市教育委員会教育長及び委員

深谷市教育委員会は、地方教育行政の組織及び運営に関する法律の一部を改正する法律（平成26年法律第76号）に基づく新教育長に小柳光春氏が任命され、平成27年4月1日より新教育委員会制度へ移行しました。



教育長 小柳光春



教育長
職務代理者 清水 巖



委員 橋本 幾子



委員 岡部 登



委員 吉井 恵美子

平成29年4月1日現在

職 名	氏 名	任 期
教 育 長	こ やなぎ みつ はる 小 柳 光 春	平成 27 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
教 育 長 職務代理者	し みず いわお 清 水 巖	平成 26 年 4 月 1 日～平成 30 年 3 月 31 日
委 員	はし ちと いく こ 橋 本 幾 子	平成 27 年 4 月 1 日～平成 31 年 3 月 31 日
委 員	おか べ のぼる 岡 部 登	平成 28 年 4 月 1 日～平成 32 年 3 月 31 日
委 員	よし い えみ こ 吉 井 恵美子	平成 29 年 4 月 1 日～平成 33 年 3 月 31 日

I 教育行財政

1. 深谷市が目指す教育の姿（深谷市教育振興基本計画より）

（1）基本理念

少子高齢社会の進行、高度情報化及び国際社会におけるグローバル化など私たちを取り巻く社会は激しい変化の中にあります。私たちは、人や自然、社会と関わり、つながりをもちながら生活をしており、その中で教育は、自らの生き方について考え、実践をしていく力を養うために重要な役割を果たしています。現在の変化の激しい時代の中で自立して生き抜いていくために、「確かな学力」、「豊かな心」及び「健やかな体」の知・徳・体を基盤とした「生きる力」を身に付けることは、もっとも大切なことです。

子どもたちの自立と成長を保障する「生きる力」をもった子どもたちを育て、また、市民一人一人の学びを通じた絆づくりと活力あるコミュニティを形成するため、本市は、郷土の偉人である渋沢栄一翁が生涯を通じて大切にした「立志の精神」と「忠恕のこころ」を受け継ぐ教育に取り組むことが重要であると考えます。

これらを踏まえ、平成24年3月に策定された深谷市教育振興基本計画では、本市の教育行政を進めていく上での基本的な考え方として、次の基本理念を掲げています。

「立志と忠恕の深谷教育」

こころざし

～ふるさとを愛し、夢をもち 志高く生きる～

～立志（りっし）と忠恕（ちゅうじょ）～

立志は「夢をもち志高く生きること」を、忠恕は「まごころ・おもいやり」を意味することばで、渋沢栄一翁が生涯貫いた思想であるといわれています。深谷市の偉人である渋沢栄一翁は経済人としての活動のほか、国際交流や社会福祉事業などにも生涯をかけて情熱を注ぎました。



渋沢栄一翁

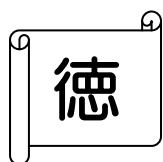
(2) 基本方針

基本理念を踏まえ「市民一人一人が生涯にわたり学んでいく」上での施策を実施していくにあたっては、学校教育及び生涯学習のそれぞれの観点から次の5つの基本方針で取り組んでいます。

ア 学校教育の観点から



確かな学力をそだてる



豊かな心をはぐくむ



健やかな体をそだてる

イ 生涯学習の観点から



夢をはぐくむ



絆をふかめる

（３）基本目標

深谷市教育振興基本計画の基本理念及び基本方針を踏まえ、教育振興基本計画の計画期間である平成２４年度～平成２９年度の６年間に取り組む教育施策の７つの基本目標を掲げ、教育行政を総合的に推進しています。

７つの基本目標

- I 社会を生き抜く力の育成
- II たくましく生きるための心と体の育成
- III 信頼される学校教育の推進
- IV 家庭・地域の教育力の向上
- V 生涯を通じた学習活動の推進
- VI 深谷らしい文化の創造
- VII 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

（４）平成２９年度深谷市教育委員会重点施策

教育委員会重点施策は、深谷市教育振興基本計画の実効性をより高めるため、年度ごとの重点的な取り組みを明らかにしたもので、毎年、年度初めにその取り組み内容を公表しています。教育委員会では、関係機関、各種団体等と連携を図るとともに、広く市民の理解と協力を得ながら、積極的に取り組んでいます。

次ページ以降では、「平成２９年度深谷市教育委員会重点施策」を教育振興基本計画の施策体系とともに紹介します。

【重点施策の設定例】



重点施策の名称

重点施策の内容

教育振興基本計画の主な取組

幼稚園教員や保育士の資質向上

○幼稚園教諭と保育士の交流
幼稚園教諭と保育士が研修会等で交流を深め、相互の資質向上を図ります。

I 社会を生き抜く力の育成

施策

主な取組

「生きる力」の基礎をはぐくむ幼児教育の推進

質の高い幼児教育の推進

幼稚園教員や保育士の資質向上

○幼稚園教諭と保育士の交流

幼稚園教諭と保育士が研修会等で交流を深め、相互の資質向上を図ります。

幼児教育と小・中学校教育との連携の推進

○幼保小中連携の強化

子育ての目安「3つのめばえ」を保育や教育の中で活用し、幼保小のスムーズな連携を図ります。併せて中学校社会体験チャレンジ等を通して中学校との連携を強化します。

幼稚園、保育園を活用した子育て支援の充実

○就園前教育支援事業

公立幼稚園の機能を活用し、全園で「子育てひろば」を開催し、子育て支援の充実を図ります。

幼保一体化への対応

○ふかやこども園のモデル園の検証

ふかやこども園のモデル園の実践を通して、教育内容、保育サービス等の幼児教育の充実を図ります。

未来を切り拓くための確かな学力の育成

「青淵学びの郷づくり」の推進

○中学生補習学習運営事業【青淵学びの郷づくり】

中学校学習支援員等を配置して、ステップアップレッスンを充実させ、生徒の基礎学力の定着を図ります。

「教育に関する3つの達成目標」の推進

教科などの指導内容・指導方法の工夫・改善

○小中一貫教育推進事業

「小中一貫教育カリキュラム深谷モデル」「つなぎ教材集」「つなぎ教材実践事例集」等を活用し、指導方法の工夫・改善を図ります。

学習状況の調査結果などの分析と活用の推進

○学力向上推進事業【青淵学びの郷づくり】

「6つの誓い」による学習の基盤づくりの上に、「深谷市スタイル」、「授業スタンダード」、「授業ベーシック」等を活用した授業力向上、学習意欲の向上を図ります。

きめ細やかで質の高い指導の充実

教育研究所の資源活用

郷土深谷を愛し、国際性をはぐくむ教育の推進

伝統と文化を尊重する教育の推進

国際性を育む教育の推進

○国際化教育推進事業【青淵学びの郷づくり】

各小・中学校に外国語指導助手（ＡＬＴ）を配置するとともに、中学校における英語活動の一層の充実を図ります。

小学校段階からの外国語活動の推進

○小学校高学年の英語教科化に向けた研究の推進【青淵学びの郷づくり】

新学習指導要領に対応した指導計画を作成するとともに、学習指導要領の実践的検証に取り組み、英語教科化への方向性を探ります。

帰国・外国人児童生徒等への教育の充実

夢を育み、時代の進展に対応する教育の推進

科学技術教育の推進

情報教育の推進

○小・中学校ＩＣＴ整備事業【青淵学びの郷づくり】

ＩＣＴ機器を積極的に活用し、児童生徒の情報活用能力の向上を図るとともに、プログラミング教育の導入を見据えた研究を行います。

環境教育の推進

社会的課題に対応する教育の充実

○情報モラル教育の推進

「安心ふっかネット」を活用し、いじめの未然防止を図るなど、インターネット等によるネットワーク社会におけるトラブルの防止に努めます。

高い志をもつキャリア教育の推進

発達段階に応じたキャリア教育の充実

○小・中学校のキャリア教育の充実【青淵学びの郷づくり】

小学校における２分の１成人式、中学校における立志式等を通して、児童生徒の夢やこころざしを育みます。

小・中・高における「なめらかな接続」の推進

○校種間のなめらかな接続

全中学校区で小中一貫教育を推進し、中１ギャップの解消を図るとともに、中高連絡協議会を実施し、出身校に係る高校生の中途退学の情報交換するなど中高の連携を図ります。

○奨学資金支給事業

経済的な理由により高等学校等への修学が困難な者に対し、学資金を給与します。

○修学奨励資金支給事業

高等学校等に在学の生徒で、家庭環境の急変により修学が困難な者に対し、奨励資金を給与します。

職場体験活動の充実

○体験を重視したキャリア教育の推進【青淵学びの郷づくり】

職業にふれる体験活動を通して、児童生徒に夢をもち、社会的・職業的自立に向けた力を育てます。

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた
特別支援教育の推進

特別支援教育体制の整備・充実

○児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた支援の充実

児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた個別の教育支援計画や教材教具を整備し、個に応じた多様な学びが実現できるよう学習環境を充実させます。

就学支援・相談の充実

○早期からの就学支援・就学相談の充実

【青淵学びの郷づくり】

教育・福祉の連携を生かし、早期からの就学支援・就学相談の充実を図ります。

特別支援教育の視点に立った指導の充実

特別支援補助員の活用

他機関との連携

支援籍学習の推進

○支援籍学習推進事業

多様な学びの場として、特別支援学校や通常の学級での支援籍学習を推進します。

教育研究所の機能の充実

※【青淵学びの郷づくり】は、渋沢栄一翁の心を受け継ぐ事業の総称です。

Ⅱ たくましく生きるための心と体の育成

施策

主な取組

まごころと思いやりをはぐくむ教育の推進

「青淵学びの郷づくり」の推進（再掲）

道徳教育の推進

○深谷の子「6つの誓い」の活用

【青淵学びの郷づくり】

渋沢栄一翁が生涯を通じて大切にしたい意志の精神と忠恕のこころを受け継ぐ「6つの誓い」などを通して、子どもの心の芯を鍛えます。

《市民協働》

○「深谷こころざし読本」及び「まごころ先生」の活用

【青淵学びの郷づくり】

深谷の三偉人の生き方から学ぶ「深谷こころざし読本」を活用するとともに、次代の人材を育成するために、「まごころ先生」を派遣し、道徳教育の充実に努めます。

体験活動の推進

○「まごころ訪問」等の実施【青淵学びの郷づくり】

子どもたちが育てた花と手紙を、一人暮らしの高齢者に贈る活動を通して、子どもたちのまごころと思いやりの心を育てます。

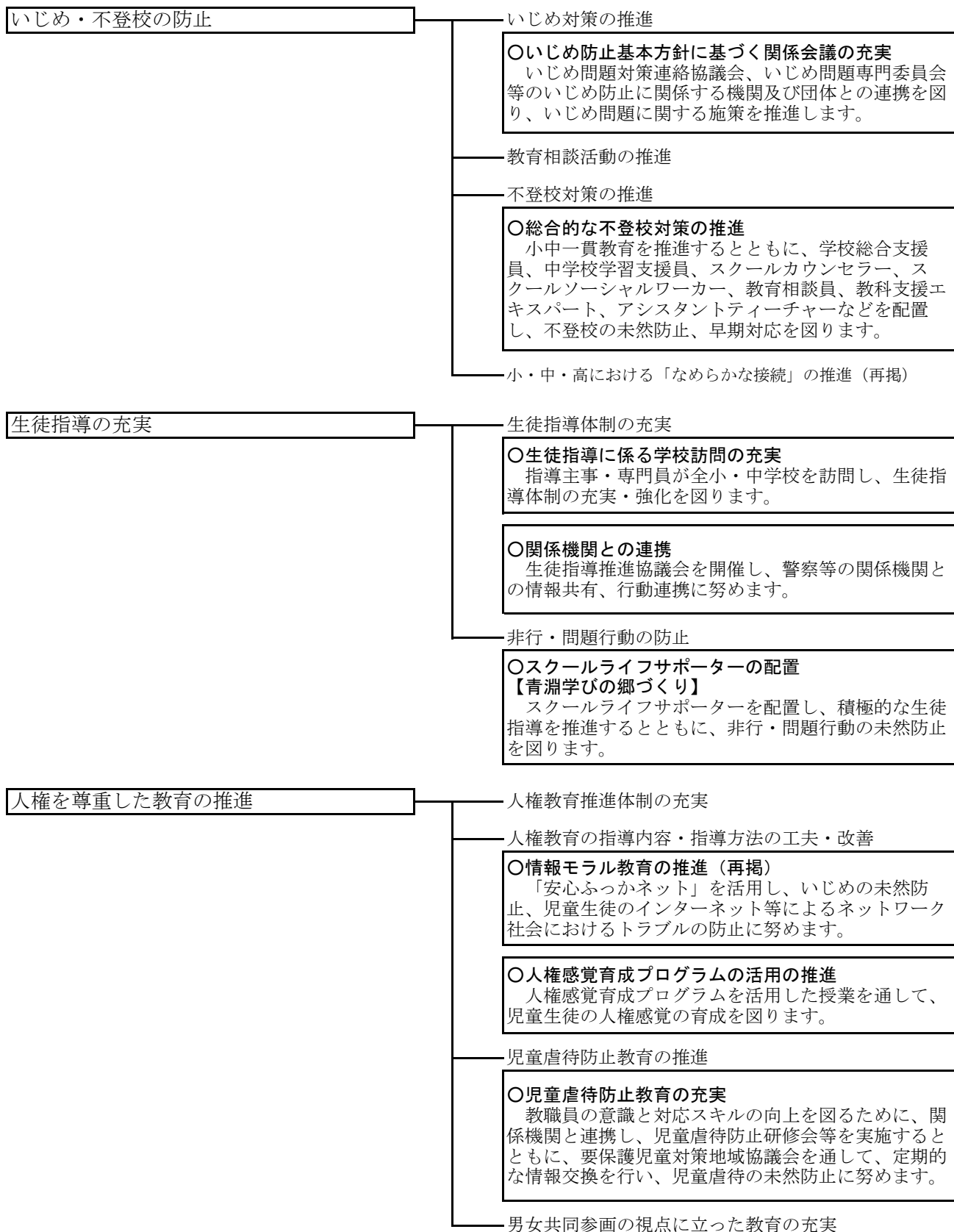
読書活動の推進

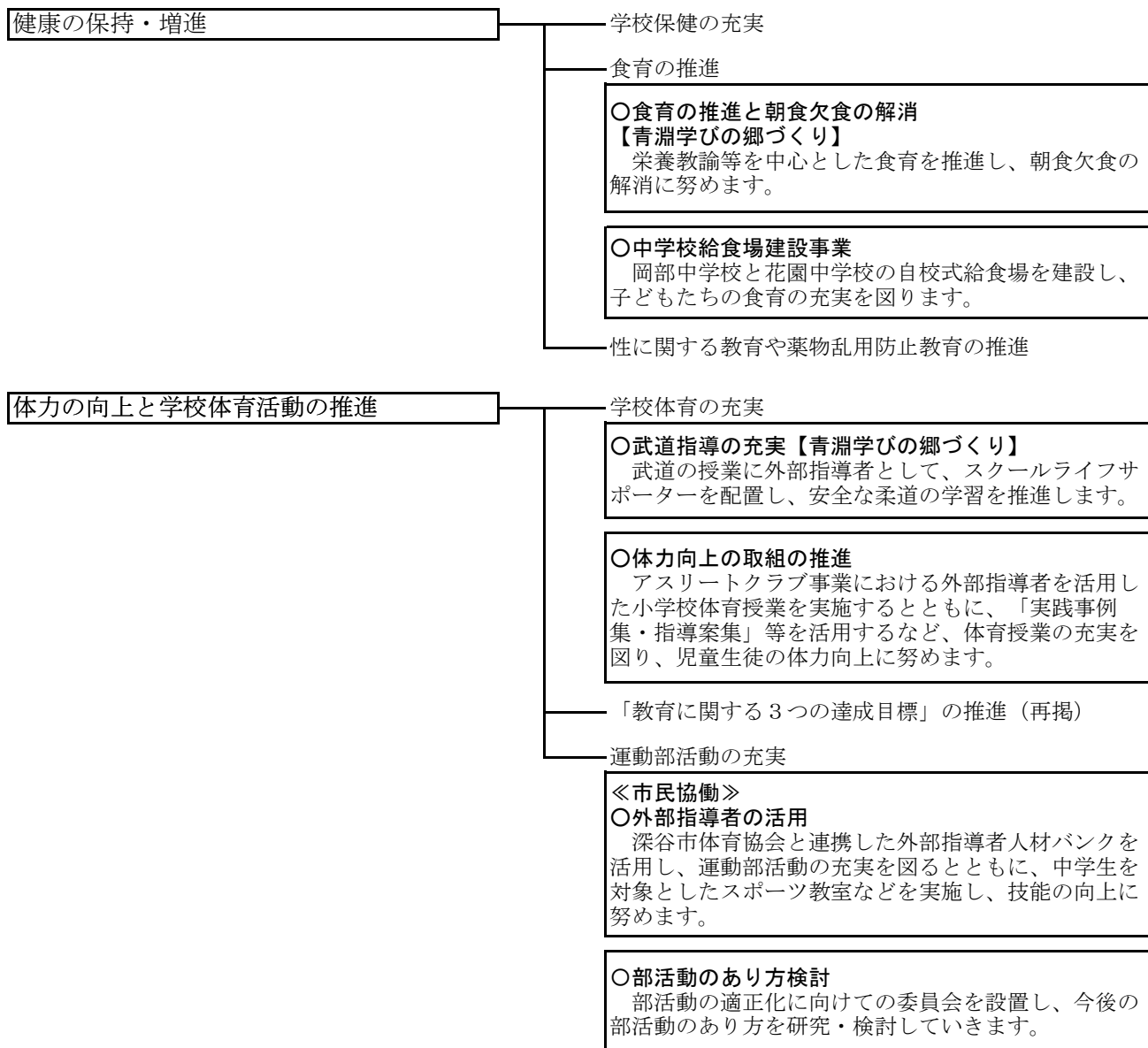
《市民協働》

○子ども読書活動の推進【青淵学びの郷づくり】

「深谷市子ども読書活動推進計画」に基づく指導計画を作成し、学校における図書館教育の充実や「子どもの暗唱を楽しむ会」の開催など、子どもたちが読書活動に親しめるように努めます。

「教育に関する3つの達成目標」の推進（再掲）





※≪市民協働≫とあるのは、市民等と行政が、相互の立場や特性を認識・尊重しながら、共通の目的を達成するために協力して活動していく施策です。

Ⅲ 信頼される学校教育の推進

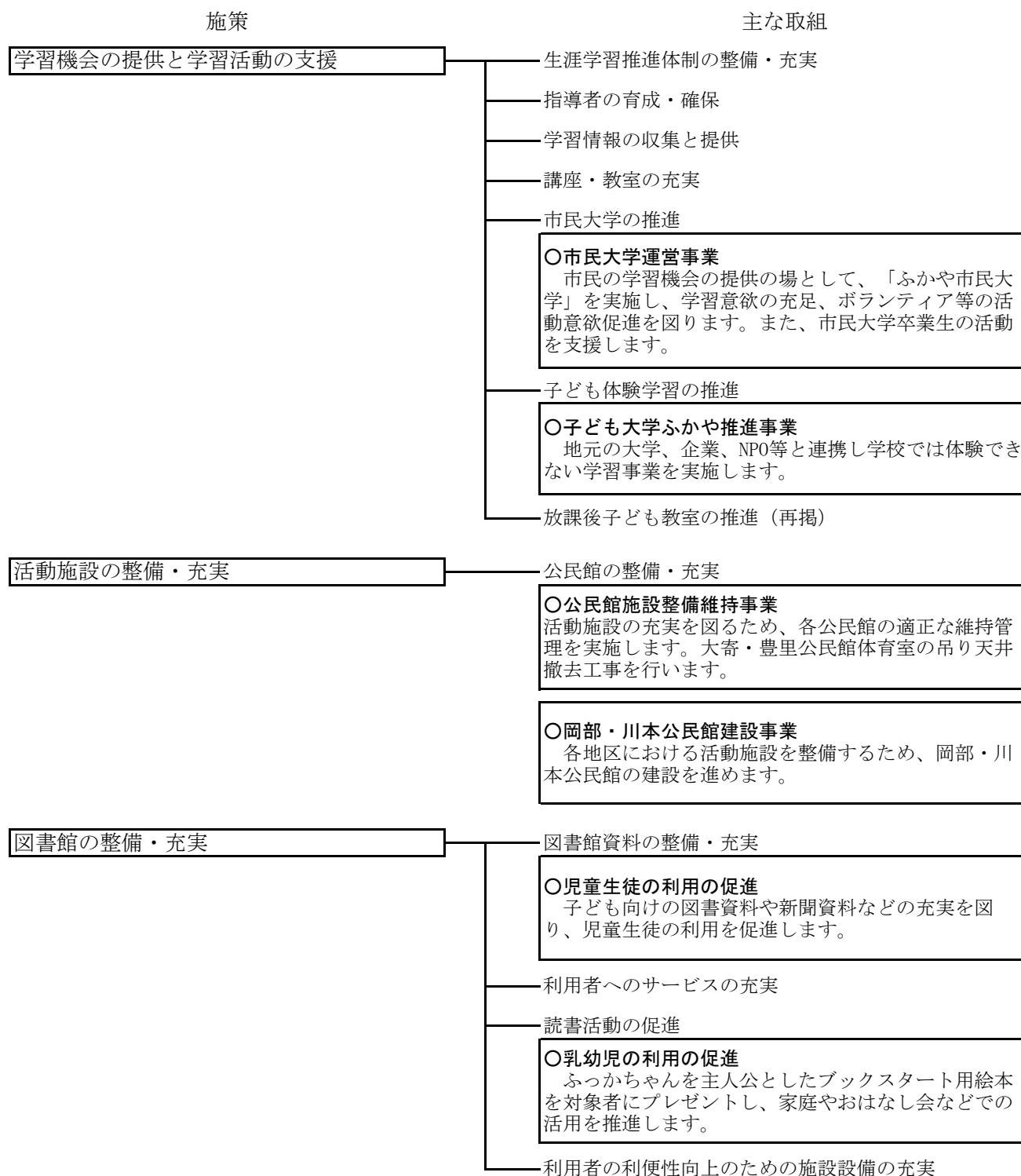




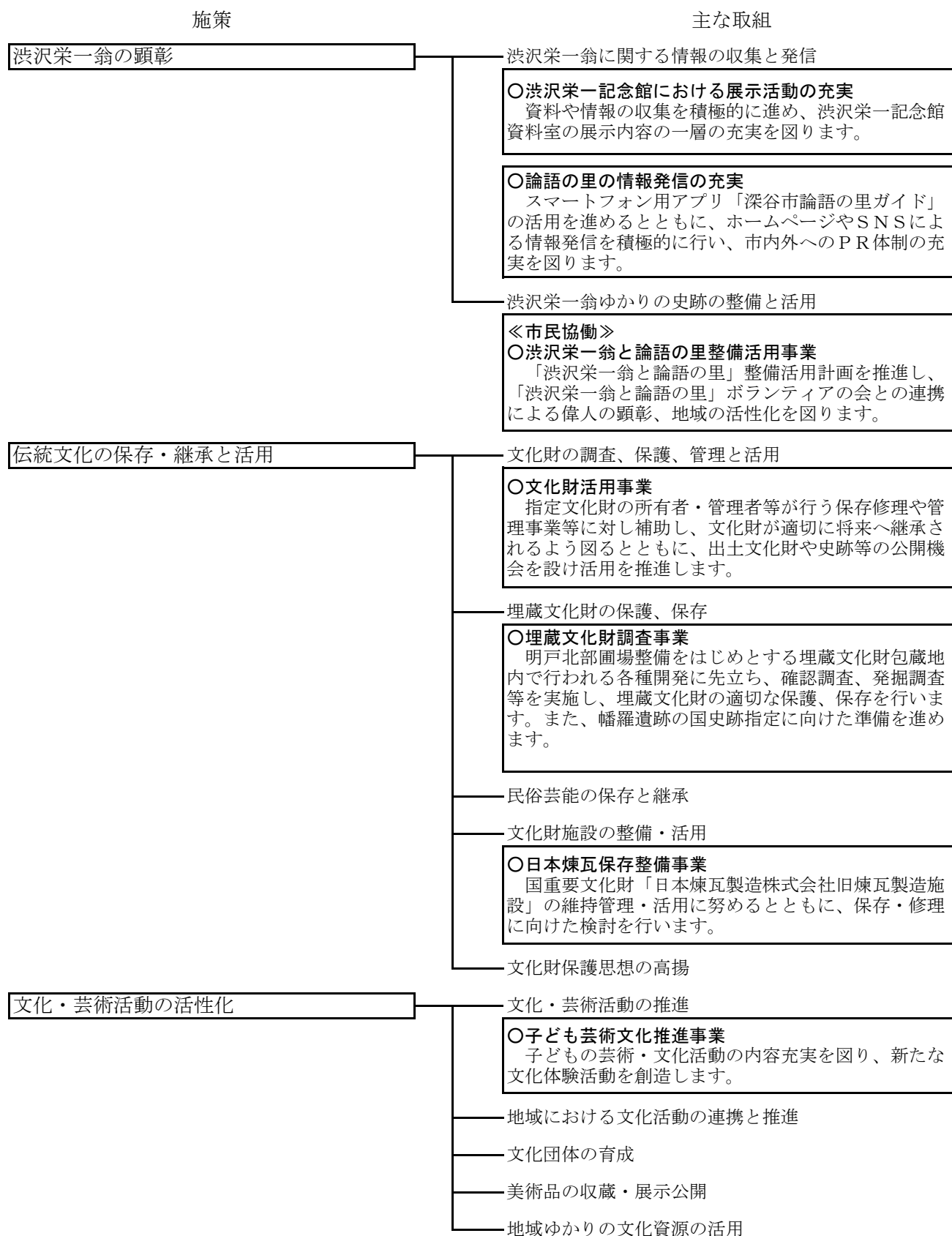
IV 家庭・地域の教育力の向上



V 生涯を通じた学習活動の推進



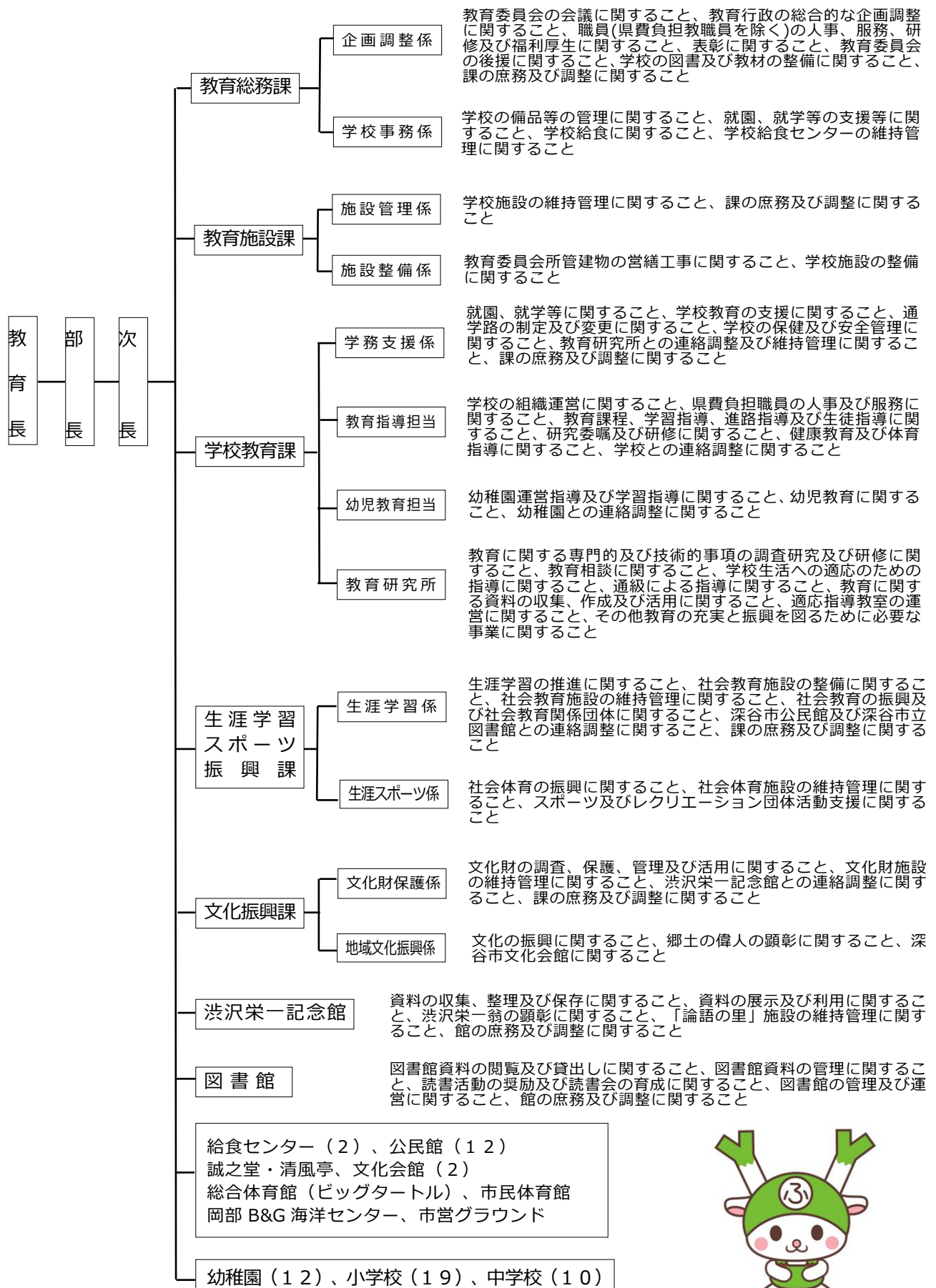
VI 深谷らしい文化の創造



VII 生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進



2. 事務局の組織及び事務分掌



3. 事務局及び教育機関職員数（平成29年4月1日現在）

（単位：人）

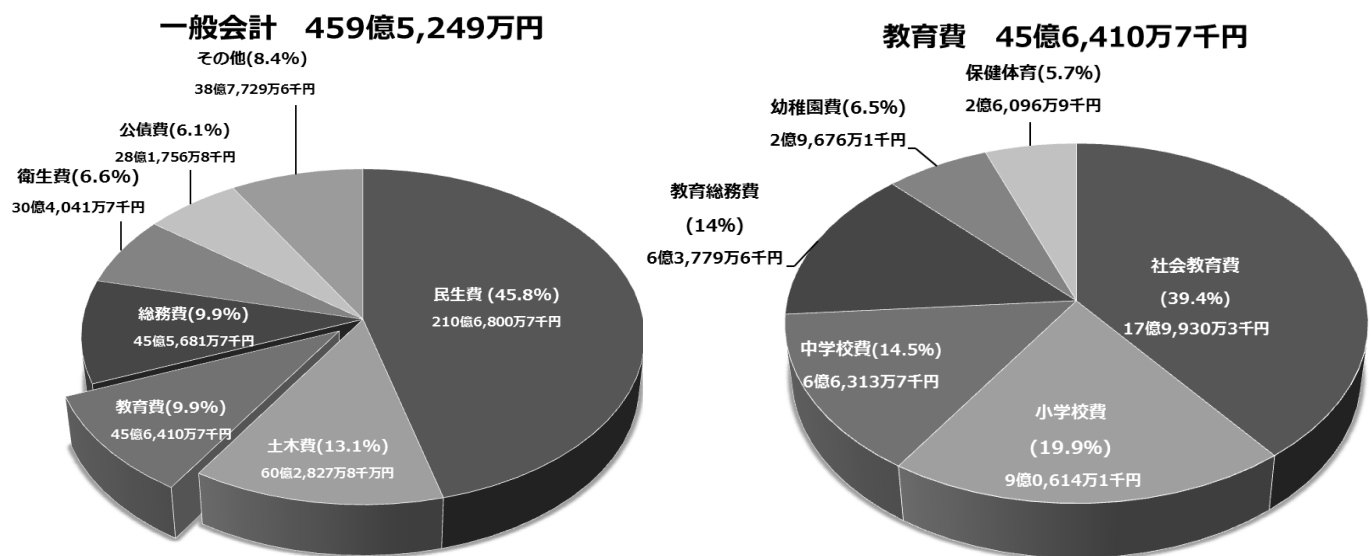
	教育長	事務職員	教務主任 教務・教諭	業務員	給食調理員	専門員・指導員 相談員・支援員	合計
職 員 数	1	108 (14)	23	1	4	14	151

※事務職員には、技術職員を含む。

※事務職員の（ ）内の数字は、指導主事兼務の職員数である。

4. 平成29年度一般会計予算、教育費（歳出）

平成29年度の教育予算は、一般会計の当初予算額 459億5,249万円のうち、45億6,410万7千円で、総予算額に占める割合は9.9%となっています。



5. 平成29年度教育費内訳、財源内訳（当初予算）

（単位：千円）

項 目	予 算 額	教育費に対する 割合(%)	財 源 内 訳			
			特 定 財 源			一般財源
			国県支出金	地 方 債	そ の 他	
教 育 総 務 費	637,796	14.0	7,236	0	1,316	629,244
小 学 校 費	906,141	19.9	4,341	0	7,758	894,042
中 学 校 費	663,137	14.5	5,711	140,400	1,736	515,290
幼 稚 園 費	296,761	6.5	24,323	0	43,998	228,440
社 会 教 育 費	1,799,303	39.4	15,931	437,200	66,468	1,279,704
保 健 体 育 費	260,969	5.7	520	0	4,006	256,443
合 計	4,564,107	100.0	58,062	577,600	125,282	3,803,163

6. 教育費（当初予算）

（単位：千円）

	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
一般会計（A）	48,222,469	49,089,252	46,639,913	48,128,626	45,952,490
教育費（B）	4,638,259	4,502,670	4,089,736	4,211,995	4,564,107
一般会計に対する 割合（B／A）	9.6%	9.2%	8.8%	8.8%	9.9%

7. 児童生徒 1 人当たりの教育費（当初予算）

（児童生徒数は各年度 5 月 1 日現在）

	小学校費 (千円)			中学校費 (千円)		
		児童数 (人)	児童 1 人当たり (千円)		生徒数 (人)	生徒 1 人当たり (千円)
平成 25 年度	1,060,399	8,097	131	524,282	4,100	128
平成 26 年度	1,240,112	8,006	155	576,513	4,103	141
平成 27 年度	903,531	7,898	114	434,594	4,073	107
平成 28 年度	812,755	7,767	105	676,123	4,006	169
平成 29 年度	906,141	7,611	119	663,137	3,920	169

8. 就学援助状況（平成 28 年度実績）

（単位：人、円）

分 類	小 学 校		中 学 校		合 計	
	人 数	金 額	人 数	金 額	人 数	金 額
学 用 品	823	6,661,020	505	8,363,210	1,328	15,024,230
通 学 用 品 費	823	1,304,870	505	838,300	1,328	2,143,170
新入学児童生徒学用品費	98	1,605,240	161	3,033,240	259	4,638,480
通 学 費	9	107,988	-	-	9	107,988
校外活動費(泊まり有)	109	310,060	289	1,390,090	398	1,700,150
校外活動費(泊まり無)	708	877,920	5	8,576	713	886,496
修 学 旅 行 費	155	2,623,976	168	7,701,120	323	10,325,096
ク ラ ブ 活 動 費	-	-	361	846,146	361	846,146
生 徒 会 費	-	-	504	947,602	504	947,602
P T A 会 費	644	1,554,242	459	1,429,960	1,103	2,984,202
体 育 実 技 用 品 費	-	-	48	227,110	48	227,110
学 校 給 食 費	823	32,719,209	503	24,855,700	1,326	57,574,909
医 療 費	7	178,300	2	23,680	9	201,980
合 計		47,942,825		49,664,734		97,607,559

9. 学校給食の状況

(1) 学校給食実施校（平成29年5月1日現在）

	学 校 数	児 童 ・ 生 徒 数
小 学 校	19 校	7,611 人
中 学 校	10 校	3,920 人
合 計	29 校	11,531 人

(2) 調理場方式（平成29年5月1日現在）

単独調理場	小 学 校	18 カ所
	中 学 校	8 カ所
学 校 給 食 セ ン タ ー		2 カ所
合 計		28 カ所

(3) 給食関係職員配置状況・給食実施稼働状況（平成29年5月1日現在）

	栄養士数（人）	調理員数（人）	給食対象者数（人）	調理員一人当たりの調理食数（食）
小 学 校	14（6）〈6〉	104[104]	6,868	66.0
中 学 校	8（5）〈3〉	50[46]	3,088	61.7
学校給食センター	2（0）〈1〉	23[23]	1,575	68.4
合 計	24（11）〈10〉	177[173]	11,531	65.1

※（ ）は市費臨時学校栄養士の内数、〈 〉は栄養教諭の内数、[]は委託職員の内数。

(4) 給食費（平成28年度実績）

	月 額	1 食 単 価	実施回数
小 学 校	4,100 円	240 円	189 回
中 学 校	4,900 円	300 円	184 回

※年間11ヶ月徴収

(5) 深谷市の学校給食における取組

① 給食活動について

ランチルーム給食、交流給食（同一学年内、異学年、全校合同）、バイキング給食、親子試食会、招待給食（地域住民など）、とうもろこし・たけのこの皮むき体験、農業体験などをおし、望ましい食習慣の形成を図っています。

② 郷土料理について

郷土の偉人である渋沢栄一翁にちなんだ「煮ぼうとう」、鎌倉時代の武将、畠山重忠にちなんだ「重忠汁」、特産のねぎを使用した「ねぎぬた」などを実施しています。

Ⅱ 学 校 教 育



1. 重点施策

明日の人材を生む学校教育の推進

～「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成を目指して～

(1) 幼児教育の充実

① 保・幼・小・中の連携

- ・0歳から15歳までの子どもを一貫して育てるため、保育園・幼稚園・小学校・中学校間の相互の情報交換を行い、園及び校種間のなめらかな接続を図る。

② 幼児教育振興のための環境整備

- ・「就園前教育支援事業」や「ふかやこども園のモデル園の検討」を通じ、子育て支援の充実を図る。

(2) 小・中学校教育の充実

① 学校管理・運営の充実

◆「青淵学びの郷づくり」の推進

- ・深谷市のめざす子ども像「夢とこころざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成につながる行動目標として「深谷の子『6つの誓い』」を、子どもを取り巻くオール深谷で推進する。
- ・中学校に学校総合支援員を配置し、学校運営や安全、学習など学校を総合的に支援する。
- ・中学校に学習支援員を配置し、中学1年生から中学3年生を対象に補習学習を実施し、学習に不安を感じている生徒の学力の向上に努める。
- ・深谷市学校問題サポートチームを設置し、対応に苦慮する学校への支援に努める。
- ・アシスタントティーチャーやALTを配置し、児童生徒の学力の向上に努める。
- ・園及び校種間のなめらかな接続を図り、小中一貫教育推進事業の充実を図る。
- ・「ふるさと先生」の小中学校への派遣や深谷市独自の道徳副読本「渋沢栄一こころざし読本」及び「深谷こころざし読本」の活用、こころざし深谷国際塾・科学塾の実施により、道徳教育・生き方教育・ふるさと教育の充実とともに、こころざしを立てさせ、夢を育む。
- ・スクールライフサポーターなどの配置により、積極的な生徒指導を推進し、いじめや不登校、非行・問題行動の未然防止を図る。
- ・「ふっかちゃん子ども福祉基金」を活用し、ふっかちゃんi（愛）サポート事業として小・中学校の特別支援学級にiPadを整備して学習支援を推進する。

◆なめらかな接続

- ・保・幼・小・中の担当者間で授業参観や情報交換を行うとともに児童生徒の交流を実施することにより、園及び校種間のなめらかな接続を図る。
- ・中学校と高等学校の連絡協議会を開催し、進路指導の充実を図る。
- ・市内にある高等学校・大学などの高等教育機関との積極的な連携を図り、学校教育の充実に努める。
- ・教科支援エキスパートを全小学校に配置し、小学校の授業を充実させることで中1へのなめらかな接続を目指す。

◆教育と福祉との連携

- ・教育委員会とこども未来部、福祉健康部等との連携を図り、子どもの継続的・組織的な支援体制づくりに努める。

◆深谷市コミュニティ・スクールの推進

- ・市民協働の観点から、全小・中学校に学校運営協議会を設置し、地域総がかりで次代を担う子供たちの育成を図る。

◆教育研究所の資源活用

- ・教育に関する専門的及び技術的事項の調査研究及び研修に努める。
- ・教育研究所学校福祉相談員等による教育相談や巡回相談など、児童生徒や保護者、学校への適切な支援に努める。
- ・学校と教育研究所との連絡・相談体制を整備・充実し、不登校の解消に努める。

② 教育内容の充実

◆「知恵」「心」「体」のバランスのとれた教育の推進

- ・「確かな学力」、「豊かな心」、「健やかな体」の3つの分野において、基礎的、基本的な内容の確実な定着を図る。

◆基礎・基本の定着と活用力の向上

- ・少人数指導によるきめ細やかな指導を取り入れた学習活動の推進に努める。
- ・学校総合支援員、中学校学習支援員がコーディネートし、学生ボランティアの協力のもと、中学生補習学習を推進する。
- ・児童生徒の発達の段階を踏まえ、各教科の基礎・基本を明確にした指導目標を設定し、指導内容の精選・重点化を図った教育課程の編成に努める。
- ・学校訪問の充実を図り、「深谷市授業スタンダード」をもとに各教科等における厳選された指導内容、個を生かす指導方法の工夫、各教科等の特性に応じた学習評価をもとに、児童生徒一人一人が意欲的に学習に取り組む授業の創造に努める。

◆生徒指導体制の充実

- ・スクールライフサポーターや教育相談員、学校総合支援員配置事業を通じ総合的な不登校対策を推進するとともに、学校が抱える問題の解決に向けた支援と安全指導の充実に努める。
- ・全教職員が児童生徒理解に基づく指導・援助に努め、いじめや不登校、非行・問題行動等の未然防止、早期発見・早期対応ができるよう、いじめ問題対策連絡協議会等を機能させ、「安心ふっかネット」や「家庭の安心ふっかネット」を活用する等、組織的な生徒指導体制を確立するとともに、家庭・地域等との連携を密にし、地域ぐるみの健全育成活動を推進する。

◆道徳教育の推進

- ・「渋沢栄一こころざし読本」及び「深谷こころざし読本」・「青淵・こころざし歳時記」等の活用や「ふるさと先生」の派遣により、道徳の時間の充実・改善を図り、立志の精神や忠恕の心、命を大切にすること等を育む。
- ・教育活動全体を通じて行う道徳教育の推進により、児童生徒が生きがいのある学校生活を送ることができ、児童生徒の自主性や自発性を大切に、成就感・存在感が得られるような教育活動を進め、共感的な人間関係の醸成に努める。

◆体力向上及び健康・安全教育の推進

- ・体育授業等の充実を通じ、児童生徒が自ら運動する意欲を培い、体力向上に取り組むとともに、生涯にわたって積極的に運動に親しむ資質や能力を身に付けさせるために、発達の段階に応じた指導の充実に努める。
- ・生涯にわたって健康で充実した生活を送るための基礎を培うよう、学校の教育活動全体を通じた健康教育の推進に努める。
- ・緊急連絡サイトや保護者連絡メールなどの活用を通じ、児童生徒の安心安全の確保に努めるとともに、児童生徒が自ら日常生活に潜む様々な危険に気づき、的確な判断の下に安全に行動し、他者の安全にも配慮することができる資質や能力の育成に努める。
- ・生涯にわたって健康で豊かな生活を送るための望ましい食生活や、好ましい人間関係を育成するために食育の推進と朝食欠食の解消に努める。

◆人権教育の推進

- ・様々な人権課題を解決しようとする児童生徒を育成するため、自校の人権教育推進上の課題を明確にし、人権問題に対する正しい知識と理解の定着を図るとともに、人権感覚の育成に努め、全教職員の共通理解の下、児童虐待防止教育や情報モラル教育等の研修会を充実させ、教育活動全体を通じて計画的・組織的に人権教育の推進に努める。

◆国際性をはぐくむ教育の推進

- ・ALTの活用を図り、小学校における外国語活動、中学校における英語教育の充実に努める。
- ・外国人児童生徒や帰国児童生徒への日本語指導の充実を図るとともに、英語王国やこころざし

国際塾などの実施を通じて国際理解教育の推進に努める。

◆進路指導・キャリア教育の充実

- ・児童生徒一人一人が自己の進路に対する目的意識を高めるとともに、望ましい勤労観や職業観を身に付け、希望と自信をもって積極的、意欲的に学校生活に取り組めるよう、家庭や地域との連携を図り、児童生徒理解を基盤にした生き方指導、支援体制づくりに努める。
- ・中学校と高等学校の連絡協議会を開催し、進路指導の充実を図る。

◆情報教育の推進

- ・全校に整備されたＩＣＴ機器を活用し、教師による教材提示や児童生徒の発表等、より分かりやすい授業を行うことで、確かな学力の定着に努める。
- ・ＩＣＴ機器を活用する学習活動を積極的に取り入れ、情報の収集や選択、創造、発信などの情報活用能力の育成に努める

◆環境教育の推進

- ・環境への理解を深め、環境を大切にすることを育成するとともに、緑豊かな学校づくりに努める。

◆教職員の指導力向上

- ・教育研究所専門員や学校福祉相談員などの活用を図り、教育と福祉の連携や特別支援教育の推進に努める。
- ・教育研究所協力員を中心に、経験に応じた研修や指導力向上の為の研修の充実を図るなど、教職員研修の拠点とする。

（３）特別支援教育の推進

① 特別支援教育体制の充実（多様な学びの場の充実）

② 就学支援・相談の充実

- ・早期からの教育相談、支援体制の構築（教育・福祉の連携の活用）
- ・継続した支援体制の充実（小中連携巡回相談等の活用）

③ 特別支援教育の視点に立った指導の充実と特別支援補助員の活用

- ・児童生徒一人一人の教育的ニーズを把握し、適正な就学支援及び個に応じた特別な教育課程を編成する。
- ・通常の学級に在籍する比較的軽度の障害のある児童生徒に対し、通級による指導を行う。
- ・通常の学級に在籍している発達障害のある児童生徒について、教育支援プランを作成し、一人一人の教育的ニーズに応じた指導の充実に努める。

④ 特別支援学校や他機関との連携

⑤ 支援籍学習の推進



(4) 学校施設・設備等の整備

① 学校施設設備の整備・充実

- ・児童生徒の活動を確保するための施設・設備の整備・充実に努める。

② I C T機器等の整備・充実

- ・コンピューター室にハイブリッド型パソコン（ノートパソコンとしてもタブレット端末としても利用できるパソコン）を導入するとともに、ネットワーク環境の強化を図り、教室で最新のI C T機器を活用した授業が展開できるよう努める。

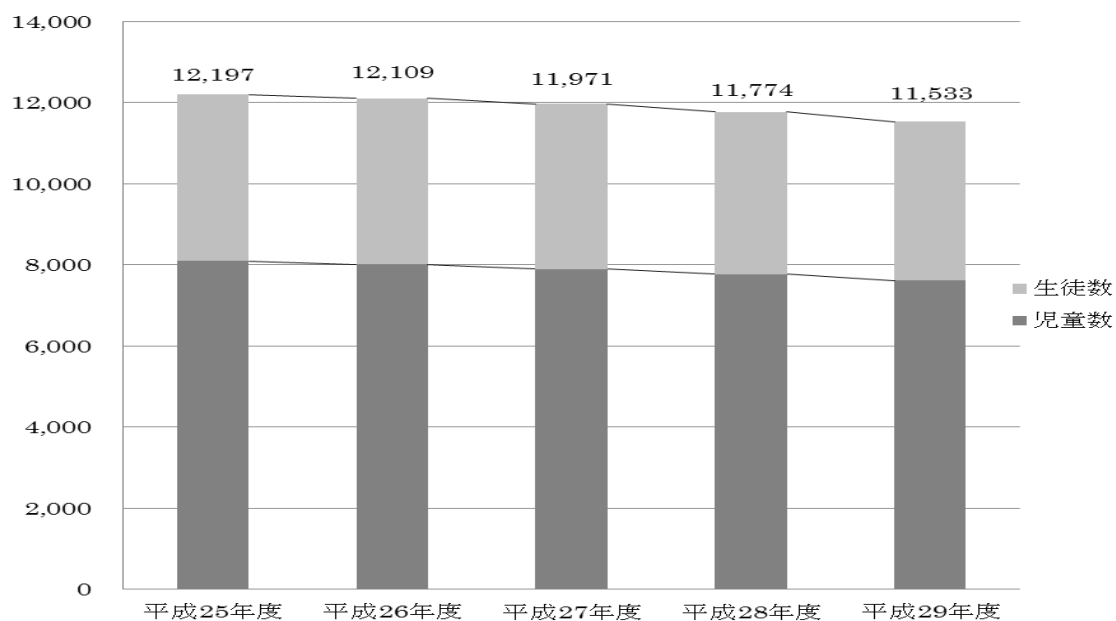
③ 学校図書館の充実と子ども読書活動の推進

④ 学校備品の計画的な整備

2. 児童・生徒・教職員数の推移（各年度5月1日現在）

（1）5年間の児童・生徒数の推移

（単位：人）



年 度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
児童数	8,097	8,006	7,898	7,767	7,613
生徒数	4,100	4,103	4,073	4,007	3,920
合 計	12,197	12,109	11,971	11,774	11,533

（2）5年間の小・中学校教職員数の推移

（単位：人）

年 度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
小学校教職員数	494	490	488	458	436
中学校教職員数	296	298	289	276	257
合 計	790	788	777	734	693



～深谷市は渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育に取り組みます～

渋沢栄一翁は、近代日本経済の礎を築いた郷土の偉人であり、教育や福祉、さらには、国際親善などでもたくさんの業績を残しました。これらの業績を成し得たのは、栄一翁が生涯を通じて、「立志の精神」と「忠恕の心」を大切にしていたからです。

現在、情報化、グローバル化といった社会的変化が進む中、いわゆる人工知能が社会や生活を大きく変えていくと予測され、不安の声も聞こえてきますが、このような時代だからこそ、子供たちには、変化を前向きに受け止め、人間ならではの感性を働かせ、より豊かな社会にしていけることが期待されています。

新しい未来を切り拓くためには、目標に向かって挑戦し続ける強い意志と、他の人のために役立ちたいと努力する思いが大切であることに、改めて、気付くものであり、これは、栄一翁の「立志の精神」と「忠恕の心」に通じるものではないでしょうか。

深谷市教育委員会では、栄一翁の精神、その心が教育における不易の価値を体現するものであると捉え策定した、「深谷市教育振興基本計画～立志と忠恕の深谷教育プラン」に基づき、幼・保・小・中・高へと続くタテの「学びの接続」と深谷市コミュニティ・スクール（Fcs）によるヨコの「育ちの協働」を一層推進し、「夢とところざしをもち、まごころと思いやり」のある深谷の子を育ててまいります。

深谷市のめざす子ども像

夢とところざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子

深谷の子
ちか
「6つの誓い」

【立志の精神】
【忠恕の心】

私は、**夢**に向かって努力します。

私は、**すすんであいさつ**をします。

私は、**毎日勉強**します。

私は、脱いだ**くつ**を**そろえ**ます。

私は、たくさん挑戦、**体験**します。

私は、**心**のこもった**ことば**をつかいます。



教育内容（重点）

夢を育む

- 基礎・基本、活用する力、学びに向かう力を身につけます
- 豊かな人間性を身につけます
- 心身の健康を保持し、体力を身につけます
- 個の違いを大切にし、共に生きる姿勢を身につけます
- 情報活用能力・コミュニケーション能力・国際感覚を身につけます
- 社会的・職業的自立に向けた意欲・態度や能力を身につけます

◇青淵・学びの郷づくり

・英語教科化に向けた研究推進
・英語王国
・国語・外国語指導の充実
・中学生補習学習（土曜日月2回程度）
・ところざし深谷（国際・科学）塾

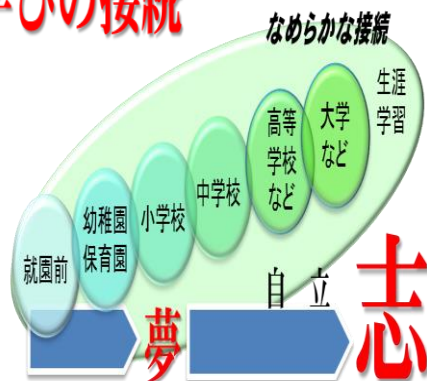
・キャリア教育の充実
・ところざし読本・歳時記
・まごころ先生派遣
・まごころ訪問
・暗唱を楽しむ会

・体力向上の取組の推進
・武道（柔道）指導の充実

・体育指導の充実（アスリート事業）
・食育推進と朝食欠食解消

他

タテ 学びの接続

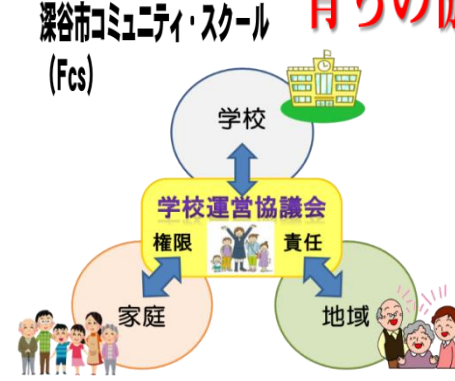


よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る

教師の「熱い思い、指導力、人間力」

「深谷市スタイル」「深谷市授業スタンダード」による指導力の向上！授業の充実！

ヨコ 育ちの協働



教育条件（重点）

夢を支える

- 0歳から15歳までの子供を一貫して育てます
☆学びの接続
・幼・保・小・中・高のなめらかな接続
・全中学校区で小中一貫教育の推進
- 地域総掛かりで次代を担う子供を育てます
☆育ちの協働
・学校運営協議会の充実
・教育・福祉連携推進会議等の充実
- いじめ防止関連条例のもと、子供の安心・安全を図ります
- 特別支援教育体制の充実・進展を図ります

◇青淵・学びの郷づくり

・中学校学習支援員の配置
・アシスタントティーチャ어의配置
・スクールライフサポーターの配置
・ALTの配置(年間200日配置)

・教科支援エキスパートの配置
・特別支援補助員の配置
・図書館補助員の配置
・国語・外国語指導専門員の配置

・ICTの整備と活用
・給食場建設(自校給食)
・小学校全児童 ヘルメット導入

・学校運営協議会(Fcs)
・幼・保・小・中連絡協議会
・学校事務の共同実施

他

深谷市学校教育グランドデザイン



深谷市で学ぶ子供たちを「教え、育てる」ために、深谷の教育をどのように進めていくか、学校教育振興懇談会やPTA代表等との協議を踏まえ、基本的な方針を示したものです。

Point1

教育の大きな役割

教育には、子供たちに、変化の激しい社会をたくましく生き抜く力や社会を形成する主体者としての資質を育成することが求められています。将来の社会的自立に向けて、人との関わりや社会の中で、自らの夢を描き、実現できるよう、子供たちを教え導いていきます。

Point2

深谷の教育資源に立脚して

深谷市には、渋沢栄一翁や生沢クノ女史など、多くの先人がいます。また、豊かな自然や世界をリードする産業が立地する環境にも恵まれています。

義務教育段階での基礎・基本の徹底を踏まえつつ、ふるさと「深谷」のすばらしい資源を活用した教育を推進していきます。

Point3

深谷市の先人 ～ 渋沢栄一翁 ～



渋沢栄一翁の足跡から、今、求められる教育の姿にたどり着くことができます。

Ⅰ 近代日本の国づくりを推進した生涯～「**立志の精神**」

Ⅱ 論語を精神的基盤として、実業界にたずさわった姿～「**忠恕の心**」

Ⅲ 人々をまとめ、会社をおこし、慈善活動・国際親善に取り組む姿～「**支え合う心**」

「深谷市は渋沢栄一翁の心を受け継ぐ教育に取り組めます」

Point4

深谷市の「めざす子ども像」

夢とところざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子

人は、「夢」をいだき、これを「ところざし^{へいたん}」として掲げ、自分の人生を歩んでいきます。

その道のりは、決して平坦ではありませんが、自らを叱咤^{しった}し、友を思いやり、社会の中で助け合いながら、「夢」の実現に一步一步近づいていくのです。

深谷市は、このような子供たちの自立と成長を手助けしていきます。

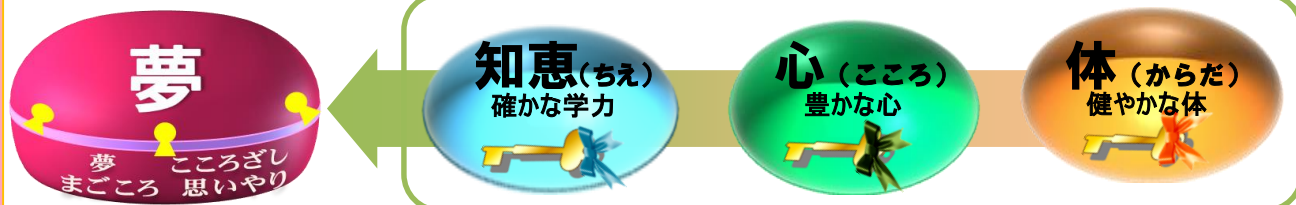
深谷の子 「6つの誓い^{ちか}」



深谷の子「6つの誓い^{ちか}」を推進する取組を通して、深谷市のめざす子ども像「夢とところざしをもち、まごころと思いやりのある深谷の子」の育成に努めます。

Point5

夢を叶える3つの鍵^{かぎ}



ところざしを立て、自らの「夢」を実現するためには、「**知恵、心、体**」の3つの鍵が必要です。子供たちが、この3つの鍵を手に入れて、生きる力を身につけ、未来を切り拓いていけるよう、学校、家庭、地域が一体となって連携し、協働することが大切です。

深谷市独自の教育資源を生かした「学び」の充実

教育内容（重点）

夢を育む

**深谷市スタイル
深谷市授業スタンダード**
「何を学ぶか」「どのように学ぶか」「何ができるようになるか」を意識した授業を実践し、学力向上に全力で取り組みます。



国語・外国語指導の充実
国語指導専門員等を配置し、国語・外国語の指導力の向上に努め、日々の授業の充実を図ります。

- 基礎・基本、活用する力、学びに向かう力を身につけます
- 豊かな人間性を身につけます
- 心身の健康を保持し、体力を身につけます
- 個の違いを大切にし、共に生きる姿勢を身につけます
- 情報活用能力・コミュニケーション能力・国際感覚を身につけます
- 社会的・職業的自立に向けた意欲・態度や能力を身につけます

◇青淵・学びの郷づくり

- ・深谷市授業スタンダードの推進
- ・深谷市スタイル
- ・英語教科化に向けた研究推進
- ・中学生補習学習の充実（土曜日月2回程度）
- ・国語・外国語指導の充実 他

知恵

- ・キャリア教育の充実
- ・こころざし読本・歳時記
- ・まごころ先生派遣
- ・まごころ訪問
- ・子どもの暗唱を楽しむ会

心

- ・体力向上の取組の推進
- ・体育指導の充実（アスリートクラブ事業）
- ・食育推進と朝食欠食解消 他

体



英語教科化に向けた研究推進
研究拠点校を指定し、児童の英語によるコミュニケーション能力の素地を養い、国際感覚を育みます。



こころざし読本の充実
深谷の三偉人の生き方を題材とした「深谷こころざし読本」を刊行し、「ふるさと深谷」を大切にし、誇りに思う子供たちを育成します。

深谷こころざし読本

三偉人から学ぶ心（小学校低学年・高学年版）



新しい教育課程に対応した「教育環境」の充実

教育条件（重点）

夢を支える

国際化教育推進事業

各小・中学校にALTを配置し、英語指導の充実を図ることで、国際性を育む教育を推進します。



- 0歳から15歳までの子供を一貫して育てます
☆学びの接続 ・幼・保・小・中・高のなめらかな接続
- ・全中学校区で小中一貫教育の推進
- 地域総掛かりで次代を担う子供を育てます
☆育ちの協働 ・学校運営協議会等の充実
- ・教育・福祉連携推進会議の充実
- いじめ防止関連条例のもと、子供の安心・安全を図ります
- 特別支援教育体制の整備・充実を図ります

◇青淵・学びの郷づくり

- ・中学校学習支援員の配置
- ・教科支援エキスパートの配置
- ・アシスタントティーチャーの配置
- ・特別支援補助員の配置
- ・スクールライフサポーターの配置
- ・ALTの配置（年間200日配置）
- ・国語指導専門員の配置 他

人

- ・ICTの整備と活用
- ・給食場建設（自校給食）
- ・小学校全児童 ヘルメット導入 他

環境

- ・学校運営協議会（Fcs）
- ・幼・保・小・中連絡協議会
- ・中・高連絡協議会
- ・学校事務の共同実施
- ・学校問題サポートチーム 他

連携



中学生補習学習運営事業

中学校学習支援員を配置し、平日の放課後に加え、土曜日月2回程度の補習学習を実施し、生徒の基礎学力の定着を図ります。



学校運営協議会の充実

学校運営協議会の充実を図り、指定2年目となる深谷市コミュニティ・スクール（Fcs）を推進し、地域総掛かりで次代を担う子供たちを育成します。



小学校全児童ヘルメット導入

「ふっかちゃん子ども福祉基金」を活用し、通学用ヘルメットを配布し、登下校時の安心・安全を支援します。



3. 学校保健

(1) 児童・生徒の体位の平均値一覧（平成28年度）

		小 学 校											
		1 学年		2 学年		3 学年		4 学年		5 学年		6 学年	
		男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
身長(cm)	深谷市	116.5	115.7	122.3	121.4	128.1	127.2	133.6	133.4	138.8	140.2	144.7	146.7
	埼玉県	116.8	115.8	122.7	121.3	127.8	127.3	133.7	133.3	138.7	140.5	145.3	146.7
	全国	116.5	115.6	122.5	121.5	128.1	127.2	133.6	133.4	138.8	140.2	145.2	146.8
体重(kg)	深谷市	21.5	21.1	24.0	23.6	27.3	26.8	30.7	30.3	35.0	34.5	37.8	39.2
	埼玉県	21.4	21.1	24.1	23.3	27.3	26.5	30.5	29.4	33.9	34.2	38.8	38.4
	全国	21.4	20.9	24.0	23.5	27.2	26.4	30.6	29.8	34.0	34.0	38.4	39.0

* 平成 28 年度から「座高」は調査項目から削除

		中 学 校					
		1 学年		2 学年		3 学年	
		男	女	男	女	男	女
身長(cm)	深谷市	152.1	151.5	159.8	154.8	164.3	155.9
	埼玉県	152.6	151.9	159.8	155.0	165.2	156.8
	全 国	152.7	151.9	159.9	154.8	165.2	156.5
体重(kg)	深谷市	44.1	43.3	49.0	48.2	53.7	50.6
	埼玉県	44.1	43.2	48.7	47.0	53.2	50.2
	全 国	44.0	43.7	48.8	47.2	53.9	50.0

* 平成 28 年度から「座高」は調査項目から削除



(2) 学校保健関係職員数（平成29年5月1日現在）

（単位：人）

	学 校 医	学校歯科医	学校薬剤師	養 護 教 員	保 健 主 事
幼 稚 園	30(19)	10(10)	10(9)	-	-
小・中学校	101(51)	43(41)	29(18)	30	29

※（ ）内の数字は、実人数

4. 進 路

(1) 過去5年間の中学校卒業者の進路状況(平成24年度～平成28年度) (単位:人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
卒業生数	1,438	1,365	1,363	1,377	1,385
進学者数	1,422	1,351	1,355	1,369	1,366
(%)	(98.9%)	(99.0%)	(99.4%)	(99.4%)	(98.6%)
就職者等数(%)	16 (1.1%)	14 (1.0%)	8 (0.6%)	8 (0.6%)	19 (1.4%)

(2) 過去5年間の進学者の内訳(平成24年度～平成28年度) (単位:人)

	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
国公立高校	1,006	1,040	960	981	984
県 (進学率)	(70.7%)	(77.0%)	(70.9%)	(71.7%)	(72.0%)
内 私立高校	305	242	289	304	286
(進学率)	(21.5%)	(17.9%)	(21.3%)	(22.2%)	(20.9%)
全 国公立高校	4	4	8	5	3
日 制 (進学率)	(0.3%)	(0.3%)	(0.6%)	(0.4%)	(0.2%)
外 私立高校	34	21	41	18	44
(進学率)	(2.4%)	(1.6%)	(3.0%)	(1.3%)	(3.2%)
定時制・通信制高校	49	25	37	42	24
(進学率)	(3.4%)	(1.8%)	(2.7%)	(3.0%)	(1.8%)
高等専門学校	7	3	7	4	8
(進学率)	(0.5%)	(0.2%)	(0.5%)	(0.3%)	(0.6%)
特別支援学校	17	16	13	15	17
(進学率)	(1.2%)	(1.2%)	(1.0%)	(1.1%)	(1.2%)
合 計	1,422 (100%)	1,351 (100%)	1,355 (100%)	1,369 (100%)	1,366 (100%)



5. 深谷市立教育研究所

〒366-0823 深谷市本住町12番8号
TEL 572-9456 FAX 551-3689



〔教育研究所の目ざすもの〕

- ◆教育と福祉の創造的連携の拠点
- ◆深谷の人づくりの拠点
- ◆学校支援の拠点

1. 〔教育研究所の現況〕

構 造	鉄骨造 3階建
敷地面積	2 3 7 1. 6 6㎡
延床面積	2 1 4 3. 3 1㎡
1 階	7 7 8. 7 2㎡
2 階	7 1 3. 3 6㎡
3 階	6 5 1. 2 3㎡
(平成21年12月竣工)	



2. 〔教育研究所の業務概要〕

昭和55年3月、深谷市の教育の充実と振興を図るため設置され、次の業務を行っている。

- (1) 教育に関する専門的・技術的事項の調査研究及び研修に関すること
- (2) 教育相談に関すること
- (3) 学校生活への適応のための指導に関すること
- (4) 通級による指導に関すること
- (5) 教育に関する資料の収集、作成及び活用に関すること
- (6) その他、教育の充実と振興を図るために必要な事業に関すること

(1) 教育研究所調査研究（特別支援教育・教育相談・研修等）

努 力 点	① 教育と福祉の連携を図り、特別支援教育の視点に立った支援体制の整備と充実を図る。 ② 教育相談活動の充実を図るための環境づくりを推進する。 ③ 教育研究所協力員（幼稚園3人、小・中学校69人）を委嘱し、経験に応じた研修や教科指導力向上の為に研修の充実を図る。	
訪 問 指 導	要請訪問	要請または必要に応じて、教育相談活動の支援
	生徒指導訪問	生徒指導について、市内全小中学校に訪問指導
	特別支援教育 巡回相談	特別支援教育に関わる巡回相談
教 育 相 談	来所相談	・専門員による面接相談（月～金曜日 9時00分～16時30分） ・臨床心理士による面接相談（毎月第3火曜日 15時15分～） ・保護者サポート講座（年4回）
	電話相談	・児童生徒・保護者、その他、幼児児童生徒を持つ市民の電話相談への対応 ・「深谷いーネット」を開設し、悩み相談への対応
	訪問相談	・不登校児童生徒への支援 ・特別な支援が必要な児童生徒への対応 ・就学前保護者への支援



研修等	・教育研究所協力員研修会（年数回） ・教育相談員研修会（年４回） ・生徒指導・教育相談中級研修会（年３回） ・英語教育・算数数学教育等の研修 ・特別支援教育コーディネーター研修会（年３回） ・特別支援教育担当者研修会（年４回）
-----	--

その他	関係機関との連携	・適応指導教室「いきいき教室」の事務所管と指導助言 ・生徒指導推進連絡協議会（年６回） ・就園前幼児教育支援事業（「子育てひろば」の実施） ・要保護児童対策地域協議会 ・教育・福祉連携推進会議 ・幼保小中連絡協議会（年２回）
	調査統計	不登校児童生徒調査、非行問題行動調査、教育相談員活動状況調査 等
	研究等	安部・木村教育学術研究論文の公募

（２）深谷市適応指導教室「いきいき教室」

平成１５年３月、県適応指導教室閉鎖に伴い、同年４月より長期にわたり欠席している児童生徒に対して、個別指導を通して、基礎学力を補充し、社会性を身に付け、学校に復帰する意欲を喚起することを目的にして開設した。

場所：深谷市立教育研究所３階

指導時間：月～金曜日 午前９時～１５時

指導者：教育研究所専門員３人、大学生ボランティア

（３）通級指導教室

小・中学校の教育活動の一環として、学校以外の施設での通級による指導を実施する。教育課程上に位置づけて、自立活動を中心とした指導と、児童生徒の教育的ニーズにより教科指導の補充を行う。

通級指導教室一覧

藤沢小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
深谷小学校通級指導教室	難聴・言語、発達障害・情緒障害
上柴西小学校通級指導教室	発達障害・情緒障害
深谷中学校通級指導教室	発達障害・情緒障害

（４）教育の情報化

① 教育の情報化推進計画

深谷市では、合併前の旧深谷市時代から情報教育を推進しており、平成２年度に中学校に、平成４年度から小学校にコンピュータを主軸としたマルチメディア教室を設置し、情報教育の進展を図っている。

平成８年度から、旧深谷市内全小中学校でインターネット接続を実施した。

平成１３年度からは普通教室・特別教室用コンピュータの整備とインターネットの高速化を図り、教育の情報化を推進している。

現在、ハードウェアの整備、ソフトウェアの整備、教職員の研修を教育委員会施策の３つの柱にし、情報教育センターを拠点に積極的に推進している。また、校務の情報化を図り、教員一人一台のコンピュータを配備し、校務の効率化及び学校ホームページによる情報発信を進めている。

② 平成２９年度「教育の情報化に関する研修」

平成２９年度は、夏季休業中を利用して次のような研修を実施し、教職員の情報活用能力の育成に努める。

平成２９年度「情報教育に関する研修」一覧

研修名	内 容
ホームページ管理者研修	【対象者】ホームページ管理者 【内 容】ネットコモンズを活用したホームページの管理・運用研修
深谷市校務支援システム管理者研修	【対象者】システム管理者 【内 容】深谷市校務支援システムを活用しての連絡メールの配信及び職員室内で行う校務処理ソフトの活用
授業におけるＩＣＴ活用研修	【対象者】新しい機器を導入した学校の職員 【内 容】新しい機器の使用法と授業での活用方法についての研修
プログラミング教育研修	【対象者】学級担任等 【内 容】授業で使えるプログラミング言語についての研修

（５）ＡＬＴ（外国語指導助手）の活動

① 授業日数と時間数（平成２８年度実績）

	授業日数（延べ）	時間数（延べ）
小学校（１９校）	1,824 日	6,448 時間
中学校（１０校）	1,323 日	3,989 時間
合 計	3,147 日	10,437 時間

◆深谷市では平成２１年度から平成２６年度まで文部科学省の研究指定を受けたことから、平成２７年度以降も小学校３年生以上で外国語活動の授業を行っています。

② その他の学校教育活動（平成２８年度実績）

- ・市内小・中学校における学校行事への参加（入学式、卒業式、体育祭、文化祭等）
- ・市内各幼稚園における行事への参加（クリスマス会等）
- ・市内小・中学校における英語指導教材作成
- ・深谷地区中学生英語弁論大会に係る指導



6. 小学校・中学校紹介

(1) 小学校



深谷市立明戸小学校

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼413番地

TEL 571-0868 FAX 571-7954

校長 横田 茂 男
教頭 境 野 仁

〔学校の現況〕

校地面積	18,962 m ²	児童数	224 人
校舎延面積	3,889 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	10,317 m ²	教職員数	15 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 12 月 1 日 蓮沼小学校を惣持寺に創立
(開校記念日とする)

〔教育目標〕

- ・学ぶ力のある子
- ・心の豊かな子
- ・たくましく生きる子



深谷市立幡羅小学校

所在地 〒366-0042 深谷市東方町3丁目25番地1

TEL 571-0517 FAX 571-7774

校長 下 条 徹
教頭 棚 村 かおり

〔学校の現況〕

校地面積	24,176 m ²	児童数	508 人
校舎延面積	4,733 m ²	学級数	19 学級
運動場面積	10,000 m ²	教職員数	29 人

〔開校概要〕

○明治 7 年 1 月 原の郷小学校を瑠璃光寺に創設
○明治 18 年 8 月 幡羅郷小学校を設置本校の起源とする

〔教育目標〕

- ・やさしく
- ・かしこく
- ・たくましく



深谷市立深谷小学校

所在地 〒366-0822 深谷市仲町19番1号

TEL 571-0329 FAX 571-0559

校長 石 川 浩
教頭 久保田 和 人

〔学校の現況〕

校地面積	31,068 m ²	児童数	555 人
校舎延面積	5,055 m ²	学級数	20 学級
運動場面積	16,865 m ²	教職員数	34 人

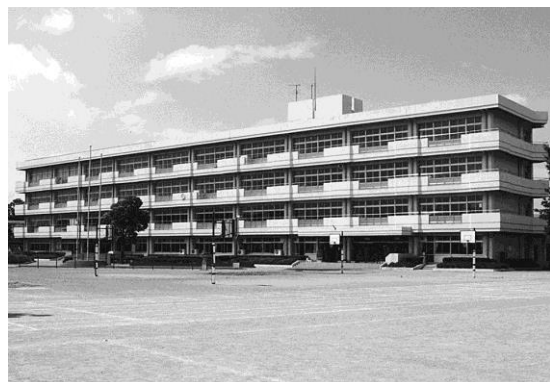
〔開校概要〕

○明治 6 年 8 月 深谷学校を高台院に開設

〔教育目標〕

◎こころざし高く思いやりのある深小っ子の育成

- ・夢に向けて一步一步努力する子
- ・よく考え進んで学ぶ子
- ・心身を鍛え記録を伸ばす子
- ・思いやりがあり正しく進む子





深谷市立桜ヶ丘小学校

所在地 〒366-0801 深谷市上野台 508 番地

TEL 571-0967 FAX 571-6966

校長 斉藤 実

教頭 佐藤 秀昭

〔学校の現況〕

校地面積	25,952 m ²	児童数	585 人
校舎延面積	6,128 m ²	学級数	21 学級
運動場面積	11,332 m ²	教職員数	31 人

〔開校概要〕

○昭和 33 年 4 月 深谷市立桜ヶ丘小学校として開校

〔教育目標〕

腰骨を立て、自分からとりくむ桜の子

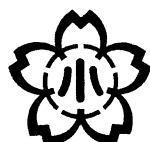
・よく考える子 ・おもしろい子 ・きたえる子

○校訓「よく学び よく遊べ」

○目指す学校像

・腰骨を立てるお手本の学校

・笑顔と元気にあふれ、夢・未来を育む学校



深谷市立大寄小学校

所在地 〒366-0831 深谷市内ヶ島 660 番地

TEL 571-0774 FAX 571-8221

校長 宇野 澄男

教頭 高木 陽

〔学校の現況〕

校地面積	15,858 m ²	児童数	156 人
校舎延面積	3,058 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	11,679 m ²	教職員数	15 人

〔開校概要〕

○明治 21 年 5 月 4 日 大寄学校創立、永光寺他 2 寺（開校記念日）

〔教育目標〕

・よく考える子

・思いやりのある子

・がんばりぬく子

○めざす学校像

ー夢をはぐくみ お互いを支え合う 笑顔があふれる大寄小ー



深谷市立藤沢小学校

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1626 番地

TEL 571-2107 FAX 571-2648

校長 嘉藤 央

教頭 荻野 浩和

〔学校の現況〕

校地面積	19,716 m ²	児童数	597 人
校舎延面積	4,843 m ²	学級数	20 学級
運動場面積	9,040 m ²	教職員数	31 人

〔開校概要〕

○明治 22 年 6 月 藤沢村立藤沢尋常小学校開校

〔教育目標〕

〔なかよく・かしこく・たくましく〕

○目指す児童像

「ふるさとを愛し、ともに学び、
伸びゆくふじさわっ子の育成」





深谷市立深谷西小学校

所在地 〒366-0827 深谷市栄町 14 番 18 号

TEL 571-0250 FAX 571-7064

校 長 茂 木 隆 資

教 頭 小 谷 野 聖 二

〔学校の現況〕

校 地 面 積	28,679 m ²	児 童 数	525 人
校 舎 延 面 積	5,186 m ²	学 級 数	20 学級
運 動 場 面 積	14,880 m ²	教 職 員 数	33 人

〔開校概要〕

○昭和 36 年 4 月 深谷西小学校開校（深谷小内）

○昭和 36 年 5 月 新校舎移転（開校記念日）

〔教育目標〕

- ・かしこい子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



深谷市立常盤小学校

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 58 番地 2

TEL 571-4923 FAX 571-4924

校 長 白 井 裕 一

教 頭 梅 澤 修

〔学校の現況〕

校 地 面 積	20,086 m ²	児 童 数	611 人
校 舎 延 面 積	5,678 m ²	学 級 数	22 学級
運 動 場 面 積	8,395 m ²	教 職 員 数	31 人

〔開校概要〕

○昭和 46 年 4 月 常盤小学校 467 人にて開校

〔教育目標〕

生きる力・夢見る力の育成

かしこく やさしく たくましく

○目指す児童像

たくましく生きる子

・進んで学ぶ子 ・なかよく助け合う子

・明るく元気な子



深谷市立八基小学校

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1300 番地

TEL 587-2250 FAX 587-2296

校 長 柴 崎 千 穂

教 頭 笠 原 直 史

〔学校の現況〕

校 地 面 積	19,633 m ²	児 童 数	166 人
校 舎 延 面 積	3,042 m ²	学 級 数	9 学級
運 動 場 面 積	11,579 m ²	教 職 員 数	15 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 8 月 横瀬小学校を横瀬福王寺に開校

○明治 29 年 12 月 新校舎新築し移転開校（開校記念日）

〔教育目標〕

かしこく なかよく たくましく





深谷市立上柴西小学校

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西5丁目11番地1

TEL 571-7580 FAX 571-7120

校長 関根 正雄

教頭 黒沢 みどり

〔学校の現況〕

校地面積	22,805 m ²	児童数	552 人
校舎延面積	5,350 m ²	学級数	19 学級
運動場面積	12,830 m ²	教職員数	33 人

〔開校概要〕

○昭和54年4月 深谷市立上柴西小学校として開校

〔教育目標〕

- ・かしこく（知育）
- ・やさしく（徳育）
- ・たくましく（体育）



深谷市立上柴東小学校

所在地 〒366-0051 深谷市上柴町東5丁目9番地1

TEL 573-7435 FAX 573-7477

校長 菊池 正彦

教頭 常木 誠司

〔学校の現況〕

校地面積	27,245 m ²	児童数	472 人
校舎延面積	4,436 m ²	学級数	17 学級
運動場面積	15,346 m ²	教職員数	26 人

〔開校概要〕

○昭和59年4月 深谷市立上柴東小学校開校

〔教育目標〕

- ・本気で学ぶ子 ー本気でー
- ・思いやりがある子 ー仲よくー
- ・進んで運動する子 ー元気よくー



深谷市立豊里小学校

所在地 〒366-0019 深谷市新戒635番地

TEL 587-2002 FAX 587-2276

校長 栗田 敦

教頭 風間 勉

〔学校の現況〕

校地面積	20,223 m ²	児童数	197 人
校舎延面積	3,136 m ²	学級数	8 学級
運動場面積	10,723 m ²	教職員数	15 人

〔開校概要〕

○昭和59年3月 市議会で「新会小・中瀬小」を「深谷市立豊里小学校」に改める議決

〔教育目標〕

- ・よく学ぶ子（やるきいっぱい）
- ・思いやりのある子（やさしさいっぱい）
- ・体力のある子（げんきいっぱい）





深谷市立岡部小学校

所在地 〒369-0203 深谷市普済寺 1305 番地

TEL 585-2023 FAX 585-6606

校長 簗 輪 進 司

教頭 今 井 和 美

〔学校の現況〕

校地面積	17,183 m ²	児童数	356 人
校舎延面積	3,774 m ²	学級数	15 学級
運動場面積	8,520 m ²	教職員数	22 人

〔開校概要〕

- 明治 6 年 10 月 普済寺本堂に開設、普済寺学校と称す
- 明治 22 年 4 月 岡部尋常小学校となる

〔教育目標〕

「正しく 豊かに」

○よく学ぶ子

【5つの気】

○思いやる子

本気・根気・やる気・勇気・元気

○きたえる子



深谷市立榛沢小学校

所在地 〒369-0223 深谷市榛沢 802 番地 1

TEL 585-2715 FAX 585-6607

校長 渋谷 肇 彦

教頭 伊藤 英 樹

〔学校の現況〕

校地面積	21,773 m ²	児童数	194 人
校舎延面積	2,806 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	12,812 m ²	教職員数	15 人

〔開校概要〕

- 明治 5 年 学制発布により後榛沢東光寺に開校
- 明治 22 年 6 月 榛沢尋常小学校開校

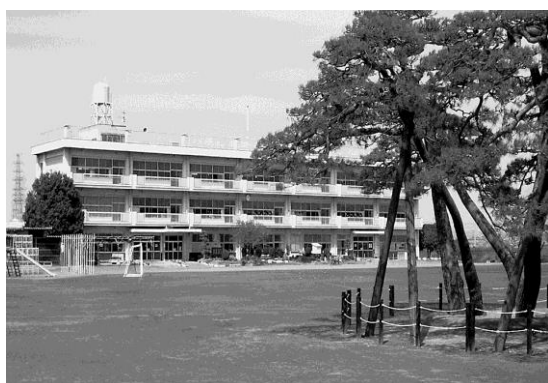
〔教育目標〕 合言葉：毎日感動！榛沢小！！

思いやりの心を持ち、たくましく生き抜く子の育成

○進んで勉強する子

○思いやりのある子

○体をきたえる子



深谷市立本郷小学校

所在地 〒369-0213 深谷市針ヶ谷 506 番地

TEL 585-4191 FAX 585-6608

校長 栗原 孝 子

教頭 鳥羽 正 人

〔学校の現況〕

校地面積	35,833 m ²	児童数	252 人
校舎延面積	3,118 m ²	学級数	12 学級
運動場面積	17,037 m ²	教職員数	19 人

〔開校概要〕

- 明治 22 年 4 月 本郷村立本郷尋常小学校として独立

〔教育目標〕

○思いやりのある子

○よく考える子

○がんばる子

『あいさつ日本一』『笑顔があふれる』本郷小学校





深谷市立岡部西小学校

所在地 〒369-0201 深谷市岡 2949 番地

TEL 585-4892 FAX 585-6609

校 長 新 島 穰 二

教 頭 榑 高 一

〔学校の現況〕

校 地 面 積	26,024 m ²	児 童 数	280 人
校舎延面積	2,806 m ²	学 級 数	13 学級
運動場面積	14,333 m ²	教職員数	20 人

〔開校概要〕

○昭和 53 年 4 月 1 日 岡部小学校より分離 現在地に開校

〔教育目標〕

- ・おもいやりのある子
- ・かんがえる子
- ・にこにこ明るい子
- ・しっかりがんばる子



深谷市立川本北小学校

所在地 〒369-1101 深谷市長在家 143 番地

TEL 583-2007 FAX 583-6616

校 長 高 木 千津子

教 頭 藤 塚 健司郎

〔学校の現況〕

校 地 面 積	17,751 m ²	児 童 数	438 人
校舎延面積	4,754 m ²	学 級 数	15 学級
運動場面積	8,301 m ²	教職員数	22 人

〔開校概要〕

○明治 23 年 10 月 11 日 武川小学校開校

〔教育目標〕

豊かな心をもち
たくましく生きる
児童の育成

やさしく
かしこく
たくましく



深谷市立川本南小学校

所在地 〒369-1105 深谷市本田 4888 番地

TEL 583-3019 FAX 583-6509

校 長 田 辺 鉄 章

教 頭 林 徹

〔学校の現況〕

校 地 面 積	30,159 m ²	児 童 数	201 人
校舎延面積	3,701 m ²	学 級 数	9 学級
運動場面積	12,100 m ²	教職員数	15 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 12 月 6 日 本田小学校創立

〔教育目標〕

進んで学ぶ子
思いやりのある子
体をきたえる健康な子





深谷市立花園小学校

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1463 番地 1

TEL 584-0478 FAX 584-0479

校長 持田 倫武

教頭 中島 幹夫

〔学校の現況〕

校地面積	32,737 m ²	児童数	744 人
校舎延面積	5,418 m ²	学級数	24 学級
運動場面積	12,659 m ²	教職員数	37 人

〔開校概要〕

○明治 6 年 母体となる用土学校・小前田学校・永田学校が開校

〔教育目標〕

◎豊かな心で自ら学び、
たくましく活動する子の育成

- ① はなしをよく聞き、よく学ぶ子
- ② なかまとなかよく協力する子
- ③ そとで元気に活動する子
- ④ のぞみにむかってがんばる子

「笑顔と元気、夢・未来」



(2) 中学校



深谷市立明戸中学校

所在地 〒366-0016 深谷市新井 18 番地

TEL 571-0869 FAX 573-0634

校長 飯田 明

教頭 宮前 日出男

〔学校の現況〕

校地面積	24,796 m ²	生徒数	96 人
校舎延面積	3,034 m ²	学級数	4 学級
運動場面積	13,638 m ²	教職員数	12 人

〔開校概要〕

○昭和 22 年 4 月 新学制施行により明戸小の一部、9 教室
(8 学級) を借り使用 4 月 23 日開校式举行

〔教育目標〕

- ・自ら進んで学ぶ生徒 (思えよ わが理想)
- ・思いやりのある生徒 (光れよ わが心)
- ・健康で粘り強い生徒 (鍛えよ わがからだ)





深谷市立幡羅中学校

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 38 番地

TEL 571-0229 FAX 571-0328

校長 大澤 誠 一

教頭 江田 昌 弘

〔学校の現況〕



校地面積	36,193 m ²	生徒数	573 人
校舎延面積	5,741 m ²	学級数	17 学級
運動場面積	18,390 m ²	教職員数	33 人

〔開校概要〕

○昭和 22 年 4 月 開校

〔教育目標〕

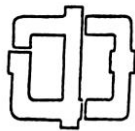
高く志を抱き 心豊かにたくましく生きる生徒の育成

<目指す生徒像>

○心を磨く生徒

○本気で学ぶ生徒

○体を鍛える生徒



深谷市立深谷中学校

所在地 〒366-0821 深谷市田谷 45 番地 2

TEL 571-0451 FAX 571-0775

校長 神 田 昌 文

教頭 松 澤 由美子

〔学校の現況〕



校訓「独立自尊」

校地面積	42,001 m ²	生徒数	477 人
校舎延面積	6,713 m ²	学級数	16 学級
運動場面積	21,248 m ²	教職員数	35 人

〔開校概要〕

○昭和 54 年 4 月 開校（旧深谷中と大寄中が統合）

〔教育目標〕

志高く

・自ら考え 学び続ける生徒

・心豊かで 思いやりのある生徒

・体を鍛え やり抜く生徒



深谷市立藤沢中学校

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1973 番地

TEL 571-0742 FAX 573-0408

校長 山 口 勝

教頭 金 子 裕 一

〔学校の現況〕



校地面積	44,105 m ²	生徒数	284 人
校舎延面積	3,929 m ²	学級数	9 学級
運動場面積	19,994 m ²	教職員数	21 人

〔開校概要〕

○昭和 22 年 4 月 23 日 開校

〔教育目標〕

確かな学力の向上と健やかな心身の育成

・自ら学ぶ生徒

・心豊かな生徒

・たくましい生徒



深谷市立豊里中学校

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 525 番地

TEL 587-2150 FAX 587-2153

校長 高橋 明 美

教頭 小林 義 治

〔学校の現況〕



校地面積	23,646 m ²	生徒数	187 人
校舎延面積	4,742 m ²	学級数	8 学級
運動場面積	11,000 m ²	教職員数	18 人

〔開校概要〕

○昭和 39 年 4 月 豊里村立豊里中学校開校

〔教育目標〕

- ・自ら進んで学習する生徒
- ・正しい判断力を持った生徒
- ・明るく思いやりのある生徒
- ・強くたくましい生徒



深谷市立南中学校

所在地 〒366-0818 深谷市萱場 320 番地

TEL 572-8373 FAX 572-9638

校長 矢 島 久

教頭 小神野 透

〔学校の現況〕



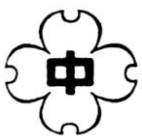
校地面積	38,642 m ²	生徒数	526 人
校舎延面積	5,295 m ²	学級数	17 学級
運動場面積	23,000 m ²	教職員数	33 人

〔開校概要〕

○昭和 58 年 4 月 深谷市立南中学校として開校

〔教育目標〕

- ・よく学び、よく習う（知）
- ・心を耕し、体を鍛える（徳・体）



深谷市立上柴中学校

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西 2 丁目 23 番地 1

TEL 573-7438 FAX 573-1206

校長 平 井 慶 益

教頭 相 川 至 宏

〔学校の現況〕



校地面積	33,087 m ²	生徒数	614 人
校舎延面積	6,525 m ²	学級数	18 学級
運動場面積	18,692 m ²	教職員数	37 人

〔開校概要〕

○昭和 59 年 4 月 1 日 深谷市立上柴中学校として開校

〔教育目標〕

- 「夢・志の実現」
- ・自ら学ぶ生徒
- ・心豊かな生徒
- ・たくましい生徒



深谷市立岡部中学校

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1214 番地

TEL 585-2623 FAX 585-6055

校長 清水 正之

教頭 田野 智恵子

〔学校の現況〕

校地面積	38,958 m ²	生徒数	517 人
校舎延面積	5,348 m ²	学級数	16 学級
運動場面積	21,548 m ²	教職員数	32 人

〔開校概要〕

○昭和 41 年 4 月 岡部村立岡部中学校、榛沢中学校、本郷中学校を統合して岡部中学校として設置

〔教育目標〕

- ・志を持ち自ら学ぶ生徒
- ・豊かな心を持ち礼儀正しい生徒
- ・健康でねばり強く取り組む生徒



深谷市立川本中学校

所在地 〒369-1108 深谷市田中 530 番地

TEL 583-2014 FAX 583-3004

校長 持田 栄

教頭 笠原 康男

〔学校の現況〕

校地面積	45,662 m ²	生徒数	315 人
校舎延面積	5,229 m ²	学級数	11 学級
運動場面積	30,000 m ²	教職員数	24 人

〔開校概要〕

○昭和 51 年 4 月 川本村立川本中学校創立
川本中学校開校式（4 月 17 日）

〔教育目標〕

- 自ら学ぶ意欲と豊かな心を持ち、
主体的に行動できるたくましい生徒の育成
- ・自主的で意欲的に学ぶ生徒
 - ・心豊かで思いやりのある生徒
 - ・健康でねばり強い生徒



深谷市立花園中学校

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1980 番地

TEL 584-0634 FAX 584-0635

校長 向井 均

教頭 細野 佳司

〔学校の現況〕

校地面積	54,667 m ²	生徒数	331 人
校舎延面積	4,942 m ²	学級数	10 学級
運動場面積	15,004 m ²	教職員数	22 人

〔開校概要〕

○昭和 22 年 4 月 花園村立花園中学校創立
4 月 28 日 開校

〔教育目標〕

- 真摯に学ぶ生徒
心を磨く生徒
体を鍛える生徒
- 立志・忠恕、あいさつ日本一の学校



7. 幼稚園教育

(1) 幼稚園概要

① 現 況

本市の幼稚園教育は歴史も古く、大正9年から深谷市立幼稚園の前身として創立され、その後幼稚園と小学校の一貫した教育を目指し、昭和54年までに10園が併設園として設置され、平成18年1月1日市町村合併により12園となる。

幼児期は、生涯にわたる人間形成の基礎を確立する最も大切な時期に当たることを重視し、就学前の幼児がスムーズに小学校生活に入れるようにするための基礎づくりを考慮している。更に保護者や地域のニーズに応じて、平成12年度から2年保育を段階的に実施し、平成16年度には全園で実施した。各園とも2年間の一貫性をもった教育課程の編成や、保・小・中学校との連携を図るなど、幼児期にふさわしい生活が展開されるよう工夫や努力をしている。（大寄幼稚園・豊里幼稚園は、平成27年度から休園中）

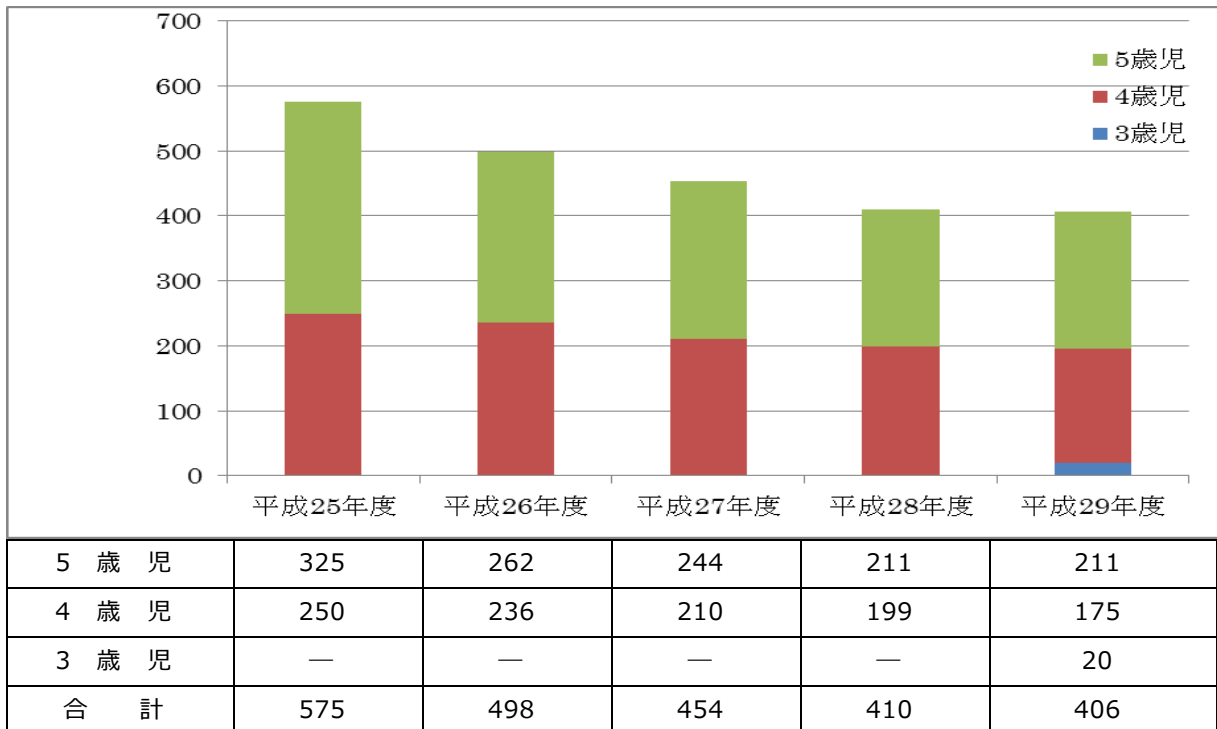
② 魅力ある幼稚園づくりの観点

- ・園長のリーダーシップの発揮と全職員の経営参加
- ・特色ある教育、創意工夫を生かした教育課程の編成
- ・学級経営の充実
- ・計画的な園内研修
- ・基本的な生活習慣の育成
- ・障害のある幼児の理解
- ・保・小・中学校や家庭・地域社会との積極的な連携



(2) 5年間の園児数の推移（各年5月1日現在）

（単位：人）



(3) 5年間の教職員数の推移（各年5月1日現在）

（単位：人）

年度	平成 25 年度	平成 26 年度	平成 27 年度	平成 28 年度	平成 29 年度
教職員数	68	66	61	58	62

(4) 幼稚園紹介

深谷市立明戸幼稚園

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼 413 番地
TEL・FAX 571-5602

園 長 横 田 茂 男
教 頭 境 野 仁



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	2,632㎡	
園 舎 延 面 積	123 ㎡	
運 動 場 面 積	2,632 ㎡	
保 育 室	1 室	特別教室 1 室
4 歳児園児数	5 人	学級数 1 学級
5 歳児園児数	8 人	(異年齢保育)
教 職 員 数	6 人	

〔教育目標〕

- ・心のあたたかい子
- ・力いっぱいがんばる子
- ・明るく元気な子

〔沿革概要〕

- ・昭和 36 年 4 月 明戸幼稚園として開園
- ・平成 27 年 8 月 明戸小学校校舎内に移転

深谷市立幡羅幼稚園

所在地 〒366-0042 深谷市東方町三丁目 25 番地 1
TEL・FAX 571-2787

園 長 下 条 徹
教 頭 棚 村 かおり



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	2,201 ㎡	
園 舎 延 面 積	154 ㎡	
運 動 場 面 積	2,201 ㎡	
保 育 室	2 室	
4 歳児園児数	9 人	学級数 1 学級
5 歳児園児数	12 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	5 人	

〔教育目標〕

- ◎ひとりひとりを生かし、こころ豊かで
たくましい子どもを育成する
- ・元気に
 - ・自分の思うことが表現できる子
 - ・力いっぱい遊べる子
 - ・なかよく
 - ・友達の話聞くことができる子
 - ・やさしさや思いやりのある子
 - ・たくましく
 - ・じぶんの力でやろうとする子
 - ・最後までがんばる子

〔沿革概要〕

- ・昭和 38 年 4 月 深谷市立幡羅幼稚園として
小学校に付設開園、3 組編成
- ・平成 27 年 8 月 幡羅小学校校舎内に移転

深谷市立深谷幼稚園

所在地 〒366-0822 深谷市仲町 19 番 2 号
TEL・FAX 571-0948

園 長 石 川 浩
教 頭 久保田 和 人



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	2,521 ㎡	
園 舎 延 面 積	542 ㎡	
運 動 場 面 積	559 ㎡	
保 育 室	3 室	遊戯室 1 室
教 材 室	1 室	職員室(保健室含む) 1 室
4 歳児園児数	16 人	学級数 1 学級
5 歳児園児数	22 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	6 人	

〔教育目標〕

- ◎「夢と思いやりを育む」
- ・健康で生き生きとした子
 - ・友だちと仲よく遊べる子
 - ・感じたこと考えたことをのびのび表現できる子
 - ・自然に親しみ進んで物事に取り組む子

〔沿革概要〕

- ・大正 9 年 6 月 二葉幼稚園創立、深谷町に移管、
深谷町立深谷幼稚園と称す
- ・昭和 61 年 3 月 園舎完成

深谷市立桜ヶ丘幼稚園

所在地 〒366-0801 深谷市上野台 508 番地

TEL・FAX 571-2788

園 長 斉 藤 実

教 頭 佐 藤 秀 昭



〔沿革概要〕

- ・昭和 38 年 4 月 深谷市立桜ヶ丘幼稚園開園
- ・平成 14 年 園舎・学童保育室完成

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,109 m ²	
園 舎 延 面 積	676 m ²	
運 動 場 面 積	935 m ²	
保 育 室	4 室	学童保育室 1 室
職 員 室	1 室	
4 歳児園児数	19 人	学級数 1 学級
5 歳児園児数	18 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	6 人	

〔教育目標〕

- ◎腰骨を立て、意欲的に生き生きと活動できる子どもを育てる
- ・明るくのびのびと遊べる子
- ・友だちとなかよくできる子
- ・遊びや仕事に最後まで取組める子

深谷市立大寄幼稚園

所在地 〒366-0831 深谷市内ヶ島 659 番地

TEL・FAX 571-5601



〔沿革概要〕

- ・昭和 32 年 4 月 小学校の教室を借りて、大寄幼稚園開園
- ・昭和 43 年 3 月 園舎落成移動

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	1,919 m ²
園 舎 延 面 積	204 m ²
運 動 場 面 積	1,302 m ²

(平成 27 年度から休園中)

深谷市立藤沢幼稚園

所在地 〒366-0811 深谷市人見 1625 番地

TEL・FAX 571-5600

園 長 嘉 藤 央

教 頭 荻 野 浩 和



〔沿革概要〕

- ・昭和 35 年 4 月 藤沢幼稚園として設立
- ・平成 28 年 1 月 新園舎完成

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,343 m ²	
園 舎 延 面 積	362 m ²	
運 動 場 面 積	816 m ²	
保 育 室	2 室	
特 別 室	1 室	
4 歳児園児数	13 人	学級数 1 学級
5 歳児園児数	15 人	学級数 1 学級
教 職 員 数	7 人	

〔教育目標〕

- ◎なかよく
- ◎かしこく
- ◎たくましく

深谷市立深谷西幼稚園

所在地 〒366-0827 深谷市栄町 14 番 19 号
TEL・FAX 571-2786

園 長 茂 木 隆 資
教 頭 小谷野 聖 二



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,052 m ²		
園 舎 延 面 積	428 m ²		
運 動 場 面 積	2,008 m ²		
保 育 室	2 室	遊 戲 室	1 室
学 童 保 育 室	1 室		
4 歳 児 園 児 数	18 人	学 級 数	1 学 級
5 歳 児 園 児 数	20 人	学 級 数	1 学 級
教 職 員 数	8 人		

〔教育目標〕

- ・げんきな子
- ・やさしい子
- ・やりぬく子

〔沿革概要〕

- ・昭和 41 年 4 月 園舎落成並びに開園式挙げる
- ・平成 6 年 3 月 園舎落成

深谷市立常盤幼稚園

所在地 〒366-0034 深谷市常盤町 58 番地 2
TEL・FAX 573-2558

園 長 白 井 裕 一
教 頭 梅 澤 修



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	954 m ²		
園 舎 延 面 積	332 m ²		
運 動 場 面 積	350 m ²		
保 育 室	2 室	リ ズ ム 室	1 室
4 歳 児 園 児 数	23 人	学 級 数	1 学 級
5 歳 児 園 児 数	29 人	学 級 数	1 学 級
教 職 員 数	6 人		

〔教育目標〕

- ◎健康な体と豊かな心の育成
- ・元気な子
- ・思いやりのある子
- ・よく考える子

〔沿革概要〕

- ・昭和 49 年 9 月 常盤幼稚園開園
- ・平成 28 年 1 月 新園舎完成

深谷市立豊里幼稚園

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 380 番地 1
TEL・FAX 587-3977



〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	2,440 m ²
園 舎 延 面 積	471 m ²
運 動 場 面 積	1,000 m ²

(平成 27 年度から休園中)

〔沿革概要〕

- ・昭和 52 年 4 月 開園 (八基小学校教室使用)
- ・昭和 53 年 12 月 園舎完成

深谷市立上柴西幼稚園

所在地 〒366-0052 深谷市上柴町西 5 丁目 18 番地 5

TEL・FAX 573-5240

園 長 福 島 辰 夫



〔沿革概要〕

- ・昭和 54 年 4 月 深谷市立上柴西幼稚園として
上柴西小学校内に開園
- ・昭和 55 年 2 月 園舎完成

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	2,690 m ²		
園舎延面積	664 m ²		
運動場面積	1,500 m ²		
保 育 室	6 室		
4 歳児園児数	24 人	学級数	1 学級
5 歳児園児数	30 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	5 人		

〔教育目標〕

◎あかるく やさしく たくましく

<目指す幼児像>

- ・明るく伸び伸びと行動できる子
- ・友だちと仲良く遊べる子
- ・豊かな感性と意欲のある子

深谷市立おかべ幼稚園

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1382 番地

TEL 585-4190 FAX 585-4240

園 長 松 村 郁 己



〔沿革概要〕

- ・平成 17 年 4 月 岡部町立幼稚園 4 園を廃園し、みらい
幼児園おかべとの幼保一体の施設とし
て岡部町立おかべ幼稚園を開園する
- ・平成 18 年 1 月 合併により深谷市立おかべ幼稚園と改称

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,075 m ²		
園舎延面積	507 m ²		
運動場面積	962 m ²		
保 育 室	3 室	小ホール	1 室
3 歳児園児数	20 人	学級数	1 学級
4 歳児園児数	20 人	学級数	1 学級
5 歳児園児数	33 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	7 人		

〔教育目標〕

- ・心身ともに健康でたくましい子
- ・みんなと仲良くし、思いやりのある子
- ・意欲的に遊べる子
- ・楽しんで話し、聞ける子
- ・物事に感動し、豊かに表現できる子

深谷市立花園幼稚園

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 1503 番地

TEL・FAX 584-1779

園 長 川 上 美恵子



〔沿革概要〕

- ・昭和 44 年 5 月 花園町立花園幼稚園として開園
- ・平成 18 年 1 月 合併により深谷市立花園幼稚園
と改称する

〔幼稚園の現況〕

園 地 面 積	3,771 m ²		
園舎延面積	847 m ²		
運動場面積	1,818 m ²		
保 育 室	5 室	リズム室	1 室
4 歳児園児数	28 人	学級数	1 学級
5 歳児園児数	24 人	学級数	1 学級
教 職 員 数	6 人		

〔教育目標〕

- ・健康で明るい子
元気にあいさつをし、楽しく活動できる子
- ・きまりを守る子
人の話をしっかり聞き、約束が守れる子
- ・なかよく遊べる子
あいてを思いやり友だちとなかよく遊べる子

Ⅲ 社会教育

1. 深谷市の社会教育の概要

◆ 生涯学習と社会教育の振興

国際化や情報化、そして少子高齢社会などの社会構造や環境の著しい変化に伴い、市民はライフサイクルの変化やライフステージに対応した学習機会の確保と提供を求めている。社会教育の果たす役割に大きな期待が寄せられている。

社会教育推進のためには、学習環境の整備充実・拡大が重要であり、このことは生涯にわたる学習機会の提供につながるものである。

また、ものの豊かさから心の豊かさへと人々の関心が移行する中で、市民の文化・芸術活動に対する意識は年々高まっており、文化財においても、史跡などの保存・整備、民俗資料や古文書の調査・収集、無形文化財の後継者の育成など、多くの関心が寄せられている。

ゆとりや潤いのある文化的環境を求める市民に応えるために、文化意識や郷土意識の高揚を図ることが必要であり、また、時代に即した学習環境の整備と豊かな市民文化を育てるため、市民の生涯にわたる多様な学習機会をつくり、「次代を担う人と文化をはぐくむまちの創造」を推進する。



2. 重点施策

(1) 家庭・地域の教育力の向上

① 家庭の教育力の向上

- ◆ 家庭教育の学習機会として、また子を持つ親同士のコミュニティや地域家庭教育の支援事業として、「親の学習」をはじめ家庭教育学級の充実を図る。
- ◆ 基本的な生活習慣や倫理観、自制心や自立心などを身に付けさせることができる家庭づくりを目指して、家庭教育の支援に努める。またボランティア活動を通じての社会参加や、地域ぐるみの教育活動を支援していく。

② 地域の教育力の向上

- ◆ 学校と連携し、子どもたちの安全・安心な活動拠点を設け、地域の人々の参画を得て、子どもの学習支援を図るほか、地域の様々な年代や職業に携わっている方々との交流活動等の機会を提供する。
- ◆ 文化・教養的事業などにより地域活動への参加促進を図るとともに、PTA活動に対する支援等を行い、学校教育と社会教育の連携・強化を図る。
- ◆ 各種事業の展開を図る中でボランティア意識の高揚を図り、社会参加活動を促進する。

(2) 生涯を通じた学習活動の推進

① 学習機会の提供と学習活動の支援

- ◆ 生涯学習を推進するための計画の立案や社会教育における問題の把握・提言等を行うため、社会教育委員をはじめ、生涯学習の推進に係る体制整備を図る。
- ◆ 各種社会教育指導者の養成や確保を図り、人材の確保・拡大に努める。
- ◆ 公民館・図書館などの社会教育施設の相互の連携を強化する。
- ◆ 市民大学を実施し、郷土深谷を学ぶ機会や現在の社会における課題に対する学習の機会の充実を図る。
- ◆ 生涯学習センターや各地区公民館における、各種学級・講座の一層の充実を図ることにより、知識の習得と地域コミュニティの向上を図る。
- ◆ ボランティアによる社会活動への参加や、各地域活動への参加などの社会参加を促進するとともに、成人としての社会参加の意識の高揚を図る。

② 活動施設の整備・充実

- ◆ 既設の生涯学習センター・公民館など社会教育施設の有効活用を図りながら、整備と機能の充実に努める。

③ 図書館の整備・充実

- ◆ 市民の教養、調査、娯楽等に資するため、図書館資料の収集、整理、保存に努めるとともに、県立図書館などとの緊密な相互協力を図ることにより、図書館事業の充実・拡充を図る。



(3) 深谷らしい文化の創造

① 伝統文化の保存・継承と活用

- ◆ 市内に所在する各種文化財に関する基礎調査を実施し、適切な保存策を講じ、その活用を図る。また、史跡や建造物などの文化財の整備を図るとともに、その歴史的景観の保存に努める。
- ◆ 市内で実施される各種開発行為に対して、所在する埋蔵文化財の保護のため、発掘調査などの記録保存を図るとともに、重要な遺構・遺物が発見された場合には、その保護措置を講ずる。
- ◆ 市内に残る伝統芸能について、各保持団体の後継者育成や発表・公演活動に関して支援を行うとともに、市民に対して活動内容を広報する。
- ◆ 各種文化財を利用した展示活動や小冊子の発行などを通じて、市内の文化財に関する情報の提供を図り、市民の文化財保護意識の高揚に努める。同時に学校教育との連携を図り、学童の文化財保護意識の高揚にも努める。

② 文化・芸術活動の活性化

- ◆ 優れた芸術活動の推進や文化事業などを開催し、文化を大切にする心を育てるとともに、文化・芸術活動の充実を図り、文化・芸術水準の向上を目指す。
- ◆ 地域の特色を生かした文化活動を公民館や文化会館などの公共施設などにおいて幅広く推進する。
- ◆ 文化団体の発表や交流を進めるとともに、指導者の資質の向上と育成に努める。
- ◆ 優れた美術品の収蔵や展示公開を図り、市民への芸術活動の奨励に努める。
- ◆ 先人の調査・研究を進め郷土意識の高揚を図る。先人の遺徳を顕彰する。

3. 渋沢栄一記念館・公民館・文化会館紹介

(1) 渋沢栄一記念館

渋沢栄一記念館

館 長 坂 倉 茂

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1204 番地

TEL 587-1100 FAX 587-1101



1. 現 況

敷地面積	4,254.83 m ²
建物延面積	2,232.75 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建
竣 工	平成 7 年11月
開 設 年 月	平成 7 年11月

2. 運営方針

深谷市教育委員会重点施策に基づき、渋沢栄一記念館の体制を整備するとともに、展示内容の充実を検討し、情報の収集と発信に努めるため、次の事項を重点的に推進する。

- ・ 渋沢栄一翁の顕彰の推進
- ・ 常設展示や企画展示の開催
- ・ 渋沢栄一関連資料や情報の収集
- ・ 作品解説や観光案内など来場者の受入体制の充実
- ・ 八基地区内「論語の里」の中核施設として団体との協働事業によるにぎわいの創出
- ・ 旧渋沢邸「中の家」および「尾高惇忠生家」の管理運営

(2) 公民館

深谷市深谷生涯学習センター・深谷公民館

所在地 〒366-0822 深谷市仲町 20 番 2 号

TEL 571-0506 FAX 574-8487

館 長 大 木 保

副館長 高 田 一 幸

副館長 内 田 研



公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	16 人
体 育 部 員	28 人
教 養 部 員	15 人

1. 現 況

敷 地 面 積	5,449.72 m ²
建物延面積	2,644.22 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建

(一部鉄骨構造)

竣 工	平成18年 3 月
開 設 年 月	昭和22年 9 月
管 内 人 口	17,935 人
管内世帯数	7,713 世帯

2. 運営方針

「夢を育み明日に飛翔する笑顔都市ふかや」を目指す深谷市の将来都市像に基づいて、健康で人間性豊かな市民の育成と心の通いあう文化の香り高いまちづくりを推進し、地域生活の向上と生活文化の向上、地域連帯の強化に努める。

- ・豊かな心と、高い知性を育む。
- ・道徳心を養い、誠実な人間性を育む。
- ・郷土を愛する心と、地域の連帯を育てる。
- ・伝統を生かし、香り高い文化を育てる。

深谷市藤沢生涯学習センター・藤沢公民館

所在地 〒366-0811 深谷市人見1967番地 1

TEL 571-0345 FAX 574-5862

館 長 大 澤 栄 次

副館長 神 田 栄 子

副館長 島 田 康 司



公民館運営審議会委員	14 人
分 館 長	20 人
体 育 部 員	59 人
教 養 部 員	47 人

1. 現 況

敷 地 面 積	9,867.17 m ²
建物延面積	2,581.76 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建

竣 工	平成15年 3 月
開 設 年 月	昭和29年 4 月
管 内 人 口	10,434 人
管内世帯数	3,959 世帯

2. 運営方針

個性と生きがいを育む教育・文化の環境づくりを推進するため、地域住民の生涯学習とコミュニティづくりの中心施設として、次の項目を重点に各種の事業を展開し、公民館の社会的使命を果たすように努める。

- ・生涯学習機会の提供と啓発に関する事業
- ・青少年の学習と活動に関する事業
- ・女性の学習と活動に関する事業
- ・高齢化社会に対応する事業
- ・人権尊重意識の高揚に関する事業
- ・自治能力の向上に関する事業
- ・健康の増進と生涯スポーツの推進に関する事業
- ・脱いだ靴をそろえる運動、あいさつ先手運動及びことばを大切にする運動の実践、推進に関する事業

深谷市幡羅生涯学習センター・幡羅公民館

所在地 〒366-0041 深谷市東方1370番地

TEL 575-1411 FAX 575-1441

館 長 田 口 英 夫

副館長 武 政 朔 二

副館長 里 見 喜 司



1. 現 況

敷地面積	15,224.34 m ²
建物延面積	2,727.42 m ²
構 造	鉄筋コンクリート・鉄骨造2階建
竣 工	平成7年1月
開 設 年 月	昭和29年12月
管 内 人 口	19,197 人
管内世帯数	7,714 世帯

2. 運営方針

社会教育法第20条の主旨に基づき、その実現に努力し、深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けながら同時に深谷市公民館条例及び同施行規則を守り、諸事を遂行する。

- ・親しまれる公民館の運営
- ・地域住民の生涯学習への関心を高め、時代に即応した生涯学習の推進
- ・地域の教育文化の向上、スポーツの振興
- ・3つの運動（脱いだ靴をそろえる・ことばを大切に
する・すすんであいさつをする）の推進
- ・地域住民の連帯意識、郷土愛の高揚
- ・住民の人権教育に対する正しい理解と認識を深め、思いやり、助け合いの啓発

公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	22 人
体 育 部 員	22 人
文 化 教 養 部 員	22 人

深谷市明戸生涯学習センター・明戸公民館

所在地 〒366-0015 深谷市蓮沼256番地

TEL 571-0872 FAX 574-5864

館 長 渋 澤 滝 人

副館長 湯 本 哲 昭

副館長 田 村 博 範



1. 現 況

敷地面積	6,103.65 m ²
建物延面積	2,179.74 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造2階建（一部鉄骨造）
竣 工	平成19年12月
開 設 年 月	昭和29年7月
管 内 人 口	4,725 人
管内世帯数	1,890 世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、明戸地区の実情に即した施策を行うため、関係機関・団体との連携を密にし、地域住民のニーズを的確に把握し、住民が自主的・積極的に参加できる事業の実施に努める。また、地域住民に親しまれ、生涯学習、地域振興の拠点となる公民館を目指す。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・地域住民の連帯感を深め、地域づくり活動の推進

公民館運営審議会委員	15 人
分 館 長	15 人
体 育 部 員	15 人
文 化 部 員	15 人

深谷市大寄公民館

所在地 〒366-0837 深谷市起会84番地 1
TEL 571-0341 FAX 574-5865

館 長 小 嶋 達 夫
副館長 井 田 三喜男
副館長 小 林 悟



公民館運営審議会委員	14 人
分 館 長	8 人
体 育 部 員	16 人
文 化 教 養 部 員	16 人
女 性 部 員	18 人

1. 現 況

敷 地 面 積	7,172.75 m ²
建物延面積	1,567.81 m ²
構 造	鉄筋コンクリート造 2 階建
竣 工	平成11年 8 月
開 設 年 月	昭和26年10月
管 内 人 口	3,399 人
管内世帯数	1,271 世帯

2. 運営方針

大寄地域住民が郷土に対しての想いを更に高め、他に誇れるふるさとづくりに専念できるよう、また、生涯学習や地域活性化等の事業推進拠点として、地域住民に親しまれる公民館運営に努める。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進
- ・健康増進と生涯にわたるスポーツ・レクリエーションの推進
- ・3つの運動（脱いだ靴をそろえよう・すすんであいさつをしよう・ことばを大切にしよう）の推進

深谷市八基公民館

所在地 〒366-0002 深谷市下手計 1204 番地
TEL 598-7757 FAX 587-1101

館 長 大 谷 政 春
副館長 柿 沼 政 好
副館長 岩 崎 和 男



公民館運営審議会委員	14 人
分 館 長	13 人
体 育 部 員	15 人
教 養 部 員	15 人

1. 現 況

敷 地 面 積	4,254.83 m ²
建物延面積	2,232.75 m ²
構 造	鉄筋コンクリート鉄骨造 2 階建
竣 工	平成 7 年11月
開 設 年 月	昭和26年 4 月
管 内 人 口	3,729 人
管内世帯数	1,379 世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会重点施策を受けて、八基地区の実情に即した施策を行うため、学校及び関係機関、関係団体との連携を密にし、施策を立案するものとする。公民館運営においては住民が公民館活動に自主的・積極的、気軽に参加することが出来るような公民館の実現を目指し、次の事項を重点的に推進する。

- ・生涯学習の推進
- ・人権を尊重する教育と心豊かな人づくりの推進
- ・スポーツ・レクリエーション活動の振興
- ・家庭・地域の教育力の向上
- ・郷土の偉人 渋沢栄一翁の遺徳顕彰の促進

深谷市豊里公民館

所在地 〒366-0019 深谷市新戒639番地1

TEL 587-2111 FAX 587-1367

館長 飯野 浩一

副館長 西田 昭一

副館長 古郡 精一



1. 現況

敷地面積	6,068.00 m ²
建物延面積	2,069.18 m ²
構造	鉄筋コンクリート造2階建
竣工	平成5年3月
開設年月	昭和62年6月
管内人口	4,220人
管内世帯数	1,608世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、豊里地区の実情に即した施策を行うため、学校及び関係機関・団体と連絡を密にし、住民が公民館活動に自主的・積極的に参加するよう呼びかけ、気軽に出入りすることのできるような公民館の実現を目指し、次の事項について重点的に推進する。

- ・生涯学習の推進
- ・人権教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・あいさつ先手運動、脱いだ靴を揃える運動、ことばを大切にしよう運動の推進

公民館運営審議会委員	15人
分館長	13人
体育振興会長	11人
スポーツ推進員	2人
体育部員	23人
文化教養部員	18人
女性部員	13人

深谷市上柴生涯学習センター・上柴公民館上柴地区複合施設(キララ上柴)

〒366-0052 深谷市上柴町西4丁目2番地14

TEL 572-9001 FAX 574-5868

館長 金井 清志

副館長 正田 金次

副館長 山口 富貴夫



1. 現況

敷地面積	10,544.36 m ²
建物延面積	1,910.78 m ² (共有部分を除く)
構造	鉄骨造3階建 (3階部分)
竣工	平成22年11月
開設年月	昭和57年6月
管内人口	19,294人
管内世帯数	8,295世帯

2. 運営方針

深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受け、地区の実情に即した施策を行うために、関係機関及び学校や各種団体と連絡を密にし、地域住民のニーズを的確に把握し、住民が自主的・積極的に参加できる事業の実施に努める。また、地域住民に親しまれ、生涯学習、地域振興の拠点となる公民館を目指す。

- ・生涯学習の推進
- ・人権教育の推進
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・地域住民の連帯感を深め、地域づくり活動の推進

公民館運営審議会委員	15人
分館長	20人
体育部員	46人
文化部員	40人

深谷市南公民館

所在地 〒366-0810 深谷市宿根 645 番地 1
TEL 575-5550 FAX 575-5560

館 長 竹 内 章 公
副館長 茂 呂 敏 行
副館長 首 藤 紀 人



公民館運営審議会委員 15 人
分 館 長 13 人
体 育 部 員 26 人
文 化 教 養 部 員 26 人

1. 現 況
敷地面積 7,920.00 m²
建物延面積 2,265.49 m²
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建
竣 工 平成10年10月
開 設 年 月 平成10年10月
管 内 人 口 17,504 人
管内世帯数 7,390 世帯

2. 運営方針
深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受け、南地区の実情に即した施策を行うために、関係機関及び学校や各種団体と連絡を密にし、地域住民の公民館活動への積極的な参加を呼びかけ、世代間交流の場とし、公民館と地域住民が一体となって開かれた公民館づくりを目指した運営を図る。
・花を活かした地域づくり
・生涯学習の推進
・人権を尊重する教育の推進
・地域の連帯意識の醸成・郷土愛の高揚
・健康増進と生涯スポーツの推進
・青少年の健全育成の推進

深谷市岡部公民館

所在地 〒369-0217 深谷市山河 1324 番地 1
TEL 585-4974 FAX 585-4890

館 長 柿 沢 孝 一
副館長 強 瀬 誠
副館長 新 井 廣 志



公民館運営審議会委員 15 人
分 館 長 19 人
体 育 部 員 66 人
教 養 部 員 38 人

1. 現 況
敷地面積 4,490.00 m²
建物延面積 2,014.33 m²
構 造 鉄筋コンクリート造 2 階建
竣 工 昭和53年 7 月
開 設 年 月 昭和53年 7 月
管 内 人 口 18,639 人
管内世帯数 7,288 世帯

2. 運営方針
深谷市教育委員会の社会教育重点施策を受けて、住みよい地域づくりを推進するため、関係機関・団体と連絡を密にし、生涯学習活動の地域拠点施設として、地域住民に親しまれ支えられる公民館を目指し、その実現のため地域ぐるみの社会教育活動を推進する。
・教養情操的事業の推進
・体育・レクリエーション事業の推進
・家庭教育事業の推進
・意識連帯事業の推進
・諸事業の推進

深谷市川本公民館

所在地 〒369-1104 深谷市菅沼1009番地
TEL 583-3234 FAX 583-3267

館長 木村 知之
副館長 本田 壽
副館長 馬場 かほる



公民館運営審議会委員	15人
分館長	21人
体育部員	42人
教養部員	42人

1. 現況

敷地面積	10,372.46 m ²
建物延面積	2,258.64 m ²
構造	鉄筋・鉄骨コンクリート造2階建
竣工	昭和59年3月
開設年月	昭和59年9月
管内人口	12,085人
管内世帯数	4,649世帯

2. 運営方針

本市の将来都市像「夢を育み明日に飛翔する笑顔都市ふかや」に基づいて健康で心豊かな市民の育成と文化の香り高いまちづくりを推進し、生活文化の向上、地域連帯感の強化に努める。

- ・生涯学習の推進
- ・地域住民との連携・郷土愛の醸成
- ・健康増進と生涯スポーツの推進
- ・青少年健全育成の推進
- ・人権教育の推進

深谷市花園生涯学習センター・花園公民館

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 2345 番地 1
TEL 584-2184 FAX 584-2394

館長 滝澤 孝
副館長 金子 正信
副館長 小池 重子



公民館運営審議会委員	14人
分館長	21人
体育部員	36人
教養部員	35人

1. 現況

敷地面積	9,265.82 m ²
建物延面積	2,727.92 m ²
構造	鉄筋コンクリート造 一部鉄骨造 2階建
竣工	平成25年12月
開設年月	昭和31年9月
管内人口	13,252人
管内世帯数	5,153世帯

2. 運営方針

地域住民の出会いの場・ふれあいの場・学びの場として、地域づくりや生涯学習の拠点として、特色のある地域づくりや地域コミュニティを推進するため、関係する各種団体等との連携を図りながら、次の項目を重点に各種事業を展開していきます。

- ・生涯学習事業の充実
(生涯学習の推進、学習機会の提供、学習効果の還元)
- ・地域住民との連携
(自治会やボランティアとの連携)
- ・人権を尊重する心豊かな人づくりの推進
(人権意識の高揚)
- ・家庭・学校・地域の連携を強化、及び青少年健全育成活動の充実
(家庭教育学級の充実、さまざまな活動の機会と場の提供、子どもを育てる地域づくりの支援)
- ・広報活動等の充実
(広報活動の積極的な推進、学習情報の提供)

(3) 文化会館

深谷市民文化会館

所在地 〒366-0823 深谷市本住町 17 番 1 号

TEL 573-8765 FAX 573-8769



1. 現 況

敷地面積	13,987.5 m ²
建物延面積	6,061.31 m ²
竣 工	昭和56年 9 月
開 館	昭和56年11月
大 ホ ール	1,164 席 (固 定 席1,018席、移動席 146席) (車椅子スペース 4 席、母子席 6 席)
小 ホ ール	324 席 (固定席のみ、車椅子スペース 4 席)
楽 屋	大ホール 5 室 小ホール 2 室
リハーサル室	1 室 (63 m ²)
練 習 室	3 室 (第1 79 m ² 、第2 56 m ² 、第3 35 m ²)
展 示 室	1 室 (239 m ²)

深谷市花園文化会館 アドニス

所在地 〒369-1246 深谷市小前田 2966 番地

TEL 584-6125 FAX 584-6128



1. 現 況

敷地面積	12,316.00 m ²
建物延面積	2,440.20 m ²
竣 工	平成 4 年 8 月
開 館	平成 4 年 10 月
大 ホ ール	716 席 (固定席711席、車椅子スペース3席、母子室2席)
集会室 1・2	1 室 (約 200 人収容 207 m ²)
楽 屋	2 室 (7 人収容)
談 話 室	1 室 (約 20 人収容 16 畳)
ボランティアビューロー	1 室 (12 人収容 24 m ²)
シャワールーム	1 室

4. 平成29年度推進事業一覧（公民館事業を含む）

教養・情操的事業	パソコン教室、和菓子作り教室、着付け教室、囲碁・将棋教室、日本酒教室、オカリナコンサート、手打ちそば教室、手づくり味噌講座、いきいき長寿の集い、料理教室、手工芸教室、ガーデニング教室、健康教室、そば打ち教室、プリザーブドフラワー教室、人権問題講座、女性健康教室、女性料理教室、防犯パトロール、趣味の作品展、学級講座、高齢者学級、フウリン草展、蛍の鑑賞会、成人教室、しめ縄飾り教室、新春お茶会、人権問題指導者研修会、男の料理教室、ケーキ作り教室、セルフマッサージ教室、福寿草大学、フラワーアレンジメント教室、いきいきコミュニティカレッジ、高齢者健康教室、芸能祭、お月見コンサート、木工教室、子ども大学ふかや、ふかや市民大学 等
芸術・文化的事業	深谷市美術展、合同県外研修、渋沢栄一翁史跡めぐり、歴史めぐり、文化祭、ミニアートギャラリー展、子ども芸術・文化推進事業「アーティスト倶楽部」、歴史講座、文化芸術による子供の育成事業、企画展覧会、優秀映画鑑賞推進事業、美術品収蔵事業、土器作り教室、どっき土器教室、畠山重忠顕彰事業、文化財展示事業、史跡特別公開、史跡めぐり、文化遺産コンサート等
体育・レクリエーション事業	フェイスシャルヨガ教室、地区市民体育祭、分館対抗野球大会、分館対抗ソフトボール大会、分館対抗グラウンド・ゴルフ大会、分館対抗バレーボール大会、分館対抗ローンボウルズ大会、分館対抗鴨んバレーボール大会、マグダーツ大会、世代間交流輪投げ大会、ソフトボール大会、ゲートボール大会、野球大会、ふれあいグラウンド・ゴルフ大会、スポーツ吹矢、少年野球大会、バレーボール大会、少年少女サッカーの集い、少年少女マラソン大会、シルバーゼミナール、フィットネス教室、キックベース教室、綱引き大会、軽スポーツ大会、歩け歩け大会、高齢者スポーツ大会、ふれあいハイキング、ローンボウルズ大会、公民館まつり 等
家庭教育・青少年健全育成事業	ブーメラン竹とんぼ教室、夏休み子ども映画会、生物研究学習（サケ放流）、家庭教育学級、科学体験、夏休み子供お楽しみ会、親子バスハイク、もちつき会、子ども教室、昔の遊び教室、夏休み宿題開放、子ども体験学習、読み聞かせ、親子探検バスツアー、子ども講座、小学生標語展、ふるさと子供祭り、七夕祭り、ふれあい広場、キッズサイエンス教室、親子手作りピザ教室、小学生書道展、子ども絵画展、中学生作品展、子ども郷土かるた大会、十日夜、まゆ玉作り、親子スポーツ大会、夏休みわんぱくランド、子育て講演会、脱いだ靴をそろえる運動、青少年健全育成指導者研修会、納涼祭、体操教室、がんばル〜ム 等
その他事業	公民館一斉清掃、明るい選挙話し合い講座、施設慰問、公民館利用調整会議、花の郵便屋さん、公民館等花壇植栽除草作業、防災訓練、公民館運営審議委員会、公民館だより



(5) 平成28年度事業別状況

(単位：人)

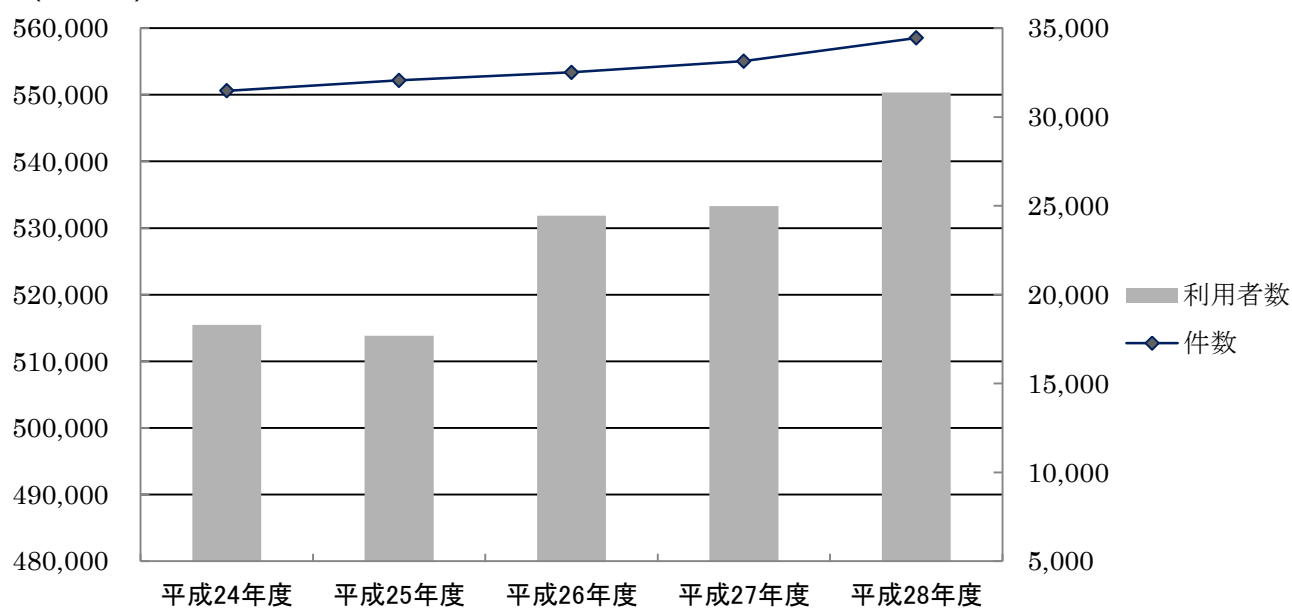
区 分	生涯学習スポーツ振興課 文化振興課・渋沢栄一記念館		公 民 館		合 計	
	参 加 者 数	延 人 数	参 加 者 数	延 人 数	参 加 者 数	延 人 数
教 養 ・ 情 操 的 業 事	130	1,567	14,628	19,399	14,758	20,966
芸 術 ・ 文 化 的 業 事	2,783	2,823	3,982	4,924	6,765	7,747
体育・レクリエーション事業	5,207	5,207	58,855	59,233	64,062	64,440
家庭教育・青少年健全育成事業	2,340	32,503	8,706	9,285	11,046	41,788
文化財保護事業	8,558	8,558	-	-	8,558	8,558
文化財施設見学 (中の家・誠之堂・清風亭等)	30,871	30,871	-	-	30,871	30,871
渋沢栄一記念館見学	18,309	18,309	-	-	18,309	18,309
そ の 他	12	60	21,107	21,559	21,119	21,619
合 計	68,210	99,898	107,278	114,400	175,488	214,298

(6) 利用状況

① 年度別生涯学習センター、公民館利用の推移

(単位：人)

(単位：件)



件 数 (件)	31,474	32,059	32,513	33,138	34,447
利用者数 (人)	515,488	513,817	531,850	533,313	550,325

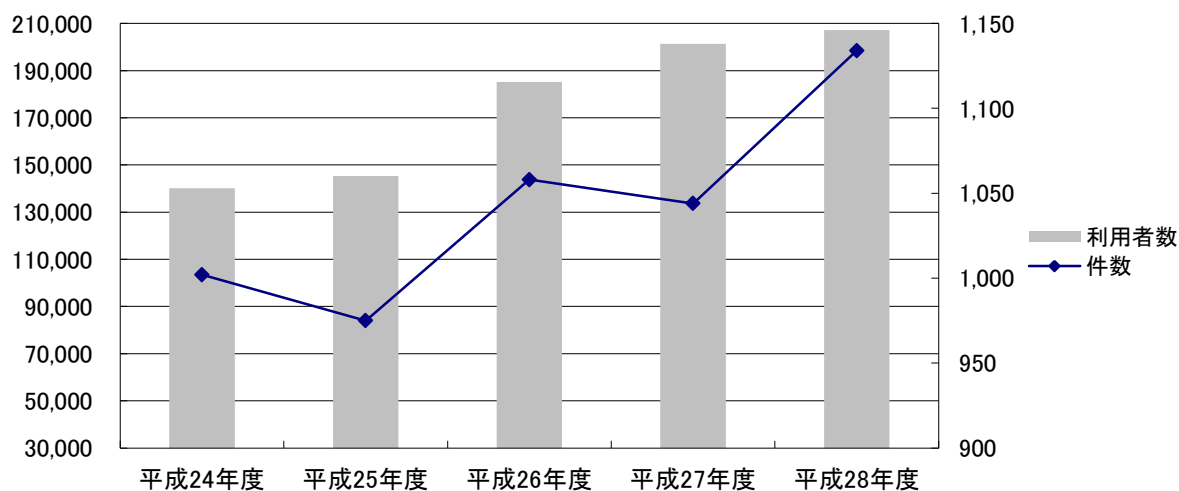
② 平成28年度公民館別利用状況

	深谷 公民館	藤沢 公民館	幡羅 公民館	明戸 公民館	大寄 公民館	八基 公民館
件数(件)	5,584	3,217	4,276	1,725	1,753	1,577
利用者数(人)	84,510	50,217	54,303	24,476	23,920	26,252
	豊里 公民館	上柴 公民館	南 公民館	岡部 公民館	川本 公民館	花園 公民館
件数(件)	1,497	4,832	3,617	1,964	1,593	2,812
利用者数(人)	22,282	82,863	60,375	36,317	39,345	45,465

③ 年度別文化会館利用状況（市民文化会館）

(単位：人)

(単位：件)

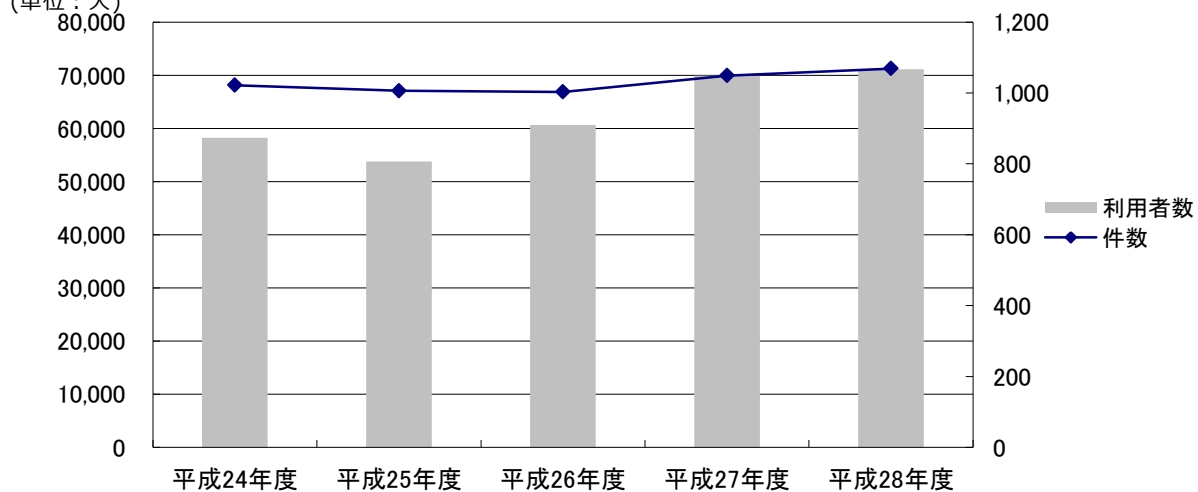


件数(件)	1,002	975	1,058	1,044	1,134
利用者数(人)	140,072	145,308	185,194	201,302	207,179

④ 年度別文化会館利用状況（花園文化会館アドニス）

(単位：人)

(単位：件)



件数(件)	1,022	1,006	1,003	1,049	1,069
利用者数(人)	58,228	53,810	60,620	69,904	71,137

5. 重要文化財など

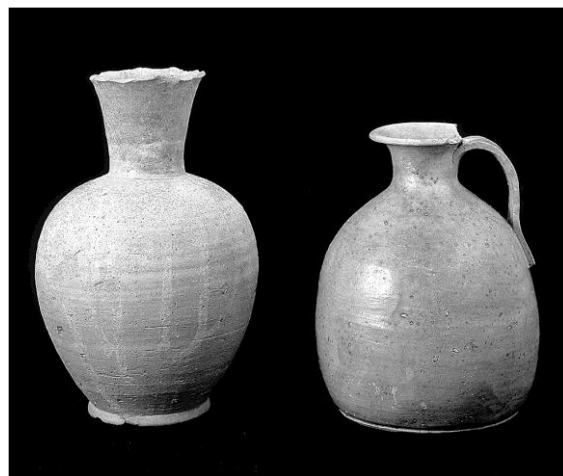
①緑釉手付瓶 附 灰釉瓶

榛沢地区の西浦北遺跡4号住居跡から出土した緑釉手付瓶は、並んで発見された灰釉瓶とともに昭和61年6月に国の重要文化財に指定された。

緑釉手付瓶とは、窯入れされ、熱を受けると緑色に変化する釉薬が塗られた焼き物で、把手が付いていることが大きな特徴と言える。完形品としては全国的にみても数少ない例である。

緑釉手付瓶の製作地は、古代の窯跡として名高い尾張国猿投窯（愛知県名古屋市）であり、製作された年代は、9世紀後半と考えられる。

東京国立博物館（平成館）に貸し出されている。



灰釉瓶

緑釉手付瓶

②日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設

平成9年5月に、国の重要文化財に指定された日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設は、旧事務所（日本煉瓦史料館）、ホフマン輪窯6号窯、旧変電室、備前渠鉄橋からなっている。

県内の重要文化財建造物としては21件目。近代化遺産の重要文化財としては、全国で5件目。県内では初めてである。

日本煉瓦製造株式会社旧煉瓦製造施設には、煉瓦焼成のための優れた構造を有したホフマン輪窯を中心として、工場の周辺建造物および日本最初の専用鉄道施設がそろって残る。この工場で作られた煉瓦は、東京駅をはじめとする東京の主要な建築に用いられたことが分かっており、本施設は、我が国の近代化の礎をなした施設として重要である。特に6号窯は、現在国内に残る数少ないホフマン輪窯のうちで最も規模が大きく代表的なものとして価値が認められる。

◆日本煉瓦製造株式会社設立の経緯

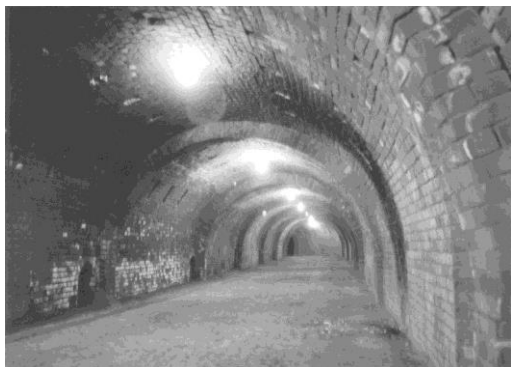
日本煉瓦製造株式会社（当時日本煉瓦製造会社）が創立された当時、明治政府は、諸外国と結んだ不平等条約を改正するため、帝国議会の開設が急務となっていた。

そのためには国会議事堂をはじめとする洋風官庁街の建設が必要であり、明治政府は、明治19年に臨時建築局を設立して日比谷に諸官庁を集める「官庁集中計画」に踏み切った。日本煉瓦製造株式会社は、明治政府が必要とした大量の煉瓦を供給するために、渋沢栄一、池田栄亮、益田孝の3人が中心となって明治20年（1887）に設立した日本煉瓦製造会社に始まる。工場の建設場所は、ドイツ人建築技師ベックマンおよびドイツ人煉瓦技師チーゼラの指導のもとに行われた調査の結果、良質の原土を産出し、利根川と通じて東京への輸送が可能な土地として現在地の上敷免の地が選定された。

・旧事務所

旧事務所は、明治21年頃に建設、「異人館」と呼ばれていたように、ドイツ人技師ナスチェンテス・チーゼとその令嬢が明治22年にドイツに帰国するまで住宅兼事務所として使用していた。帰国後は会社の事務所、昭和53年からは史料館として活用。

簡素なデザインを備えており、明治初期の洋風建築の特色がよく表れている。



・ホフマン輪窯6号窯

ホフマン輪窯6号窯は、明治40年に建設。

昭和43年に操業を停止。その全体は、18の焼成室に分かれ、月産生産高65万個の煉瓦が製造されたという。



・旧変電室

旧変電室は、明治39年の電灯線の架設時に建設。屋根や窓など多少の改修はあったものの建設時と変わらない姿のまま保存されている。

・備前渠鉄橋

備前渠鉄橋は、明治28年に日本煉瓦専用線が備前渠を通るために架設された鉄橋である。橋の南側には、鉄橋の西側近傍で備前渠から分岐する水路を越えるための煉瓦アーチ橋が附属する。昭和58年に深谷市に寄附され、現在は遊歩道となりレールなどが取り払われているものの、往時の姿をよくとどめている。



③誠之堂（重要文化財）・清風亭（埼玉県指定有形文化財）

「誠之堂」は平成15年5月30日に国の重要文化財に指定され、また「清風亭」は平成16年3月23日に、埼玉県指定有形文化財に指定されている。これらの建物は、渋沢栄一により創設された日本初の銀行、「第一国立銀行」の後身である第一銀行（現みずほ銀行）が現在の東京都世田谷区に所有していた保養施設「清和園」の敷地内に建てられていた。

当時は、一般には公開されていなかったが、建築学者や建築関係者の間では、いずれの建物も、大正時代を代表する建築物として、日本の西洋建築史上、重要な位置を占める建築物として知られていた。

平成9年9月、これらの建物を取り壊しの危機に瀕したのをきっかけとして保存運動が起こった。ともに深谷市出身の渋沢栄一にゆかりのある建物であったことから、深谷市が譲り受けることとなった。

このような文化的価値の高い建物、特に煉瓦建造物の移築は、深谷市に限らず日本でも初めてといえる試みであったため、日本建築学界の第一人者である鈴木博之東京大学教授や藤谷陽悦日本大学助教授、日本建築家協会保存検討委員会委員長である兼松紘一朗氏（職名はいずれも当時）を迎えて、市関係者を交えた移築保存検討委員会を設置し、移築方法の検討を重ねた。

検討の結果、移築場所は、当時新築が計画されていた大寄公民館敷地内と決められた。移築・復原工事は、建築を行った「清水組」の後身である清水建設株式会社が担当し、日本建築に多く見られる「大ばらし」を応用する日本初の工法により、工事が実施された。

約2年間の移築・復原工事を経て、誠之堂・清風亭は平成11年11月11日に落成式を迎えた。

深谷市では、これらの建物を保存・活用することを目的として「深谷市誠之堂・清風亭条例」を制定し、広く公開している。



移築された誠之堂（右）・清風亭（左）

※詳細は「誠之堂・清風亭」のホームページをご覧ください。

・http://www.city.fukaya.saitama.jp/kanko/kanko/seisido_seifutei/1391497434025.html

④鹿島古墳群（埼玉県指定史跡）

川本地区本田の荒川に沿った台地に、100 基を越す古墳が分布する。終末期の古墳群として知られ、径 10 メートル～20 メートルほどの小規模円墳で構成されるが、方墳も見ついている。胴張型石室を特徴とし、埴輪が出土する古墳は少ない。この古墳のうち川寄りの 56 基について、埼玉県指定史跡として東西 800 メートルにわたり保存整備された。



⑤中宿古代倉庫群跡（埼玉県指定史跡）

中宿遺跡の発掘調査は、平成 3 年の第 1 次調査以降、5 次にわたり実施されている。遺跡は、櫛挽台地の北端に位置し、奈良～平安時代の大規模な建物群 20 棟が発見されている。

これら建物群の基礎部分は、高床式倉庫に特徴的な構造を有することから、古代榛沢郡の正倉に相当する施設と考えられる。正倉とは、税として徴収された稲を収納する公的な倉庫であり、古代の郡単位で設置されている。

第 1 次調査終了後、埼玉県で初めての発見例として、その調査範囲全域が中宿古代倉庫群跡として埼玉県の史跡に指定された。現在は、約 7000 平方メートルの範囲が史跡として保存・活用されている。写真は、発見された建物跡のうち、最も規模の大きい 1 号建物跡と 2 号建物跡について上部構造の復元を行ったもの。



2 号建物（奥） 1 号建物（手前）

⑥畠山重忠墓（埼玉県指定史跡）

武蔵武士畠山重忠は、鎌倉幕府の重臣として知られる。

重忠は、川本地区畠山出身といわれ、畠山館跡に残る大型の五輪塔 6 基が「畠山重忠墓」として大正 13 年に埼玉県史跡として指定された。

五輪塔は、凝灰岩製で鎌倉時代の特徴をもち、中でも高さ 1.8 メートルの中央の五輪塔が畠山重忠の墓といわれる。現在は、覆屋の中に保存されている。



⑦渋沢栄一生地（埼玉県指定旧跡）、旧渋沢邸「中の家」・尾高惇忠生家（深谷市指定史跡）

『旧渋沢邸「中の家」』は、明治 28 年上棟の養蚕農家住宅で、渋沢栄一の妹夫婦によって建てられた。主屋のほかに、副屋、土蔵、正門、東門が建ち、当時の北武蔵における養蚕農家屋敷の形をよくとどめている。栄一は、多忙の合間も時間をつくり年に数回はこの家に帰郷した。東京飛鳥山の栄一の私邸は、空襲によって焼失したため、この家は現在残る栄一が親しく立ち寄った数少ない場所といえる。

「尾高惇忠生家」は江戸時代後期に建てられたと伝わっている。尾高惇忠は富岡製糸場の初代場長となった人物であり、渋沢栄一の従兄にあたる。教育者として渋沢栄一の思想・学問に大きく影響を与えた。幕末においては、この建物内で渋沢栄一をはじめとする憂国の志士たちによって、倒幕の密議が行われた。



旧渋沢邸「中の家」



尾高惇忠生家

6. 深谷市内所在文化財など件数一覧

(平成29年4月1日現在)

種 別	国 指 定 な ど			埼 玉 県 指 定		深 谷 市 指 定		合 計	
	種 類		件 数	種 類		件 数	種 類		件 数
有 形 文化財	重 要 文化財	建 造 物	2	建 造 物	2	建 造 物	15	19	
		絵 画		絵 画	1	絵 画	23	24	
		彫 刻		彫 刻	2	彫 刻	20	22	
		工 芸 品		工 芸 品	1	工 芸 品	22	23	
		書跡・典籍・古文書		書跡・典籍・古文書	2	書跡・典籍・古文書	38	40	
		考 古 資 料	1	考 古 資 料	1	考 古 資 料	35	37	
		歴 史 資 料		歴 史 資 料		歴 史 資 料	12	12	
	小 計		3	小 計	9	小 計	165	177	
	登 録 有 形 文 化 財		13						13
	小 計		13						13
民 俗 文化財	重要有形民俗文化財			重要有形民俗文化財		重要有形民俗文化財	20	20	
	重要無形民俗文化財			重要無形民俗文化財	1	重要無形民俗文化財	25	26	
	小 計		0	小 計	1	小 計	45	46	
記念物	史 跡			史 跡	7	史 跡	42	49	
	名 勝			名 勝		名 勝	2	2	
	天 然 記 念 物			天 然 記 念 物		天 然 記 念 物	4	4	
				旧 跡	5			5	
	小 計		0	小 計	12	小 計	48	60	
合 計			16		22		258	296	

その他 ○埼玉県選定重要遺跡 11件

※詳細は「深谷市の歴史と文化財」のホームページをご覧ください。

「深谷市の歴史と文化財」: http://www.city.fukaya.saitama.jp/rekishi_bunkazai/index.html

Ⅳ 図 書 館

1. 施設の概要

外 観		
	深谷市立図書館	深谷市立岡部図書館
所 在 地	深谷市仲町19番3号	深谷市山河 1324 番地 1
延 床 面 積	2,290.94 m ²	103.80 m ²
竣 工	平成 2 年 1 月	昭和 5 3 年 1 月
開 設 年 月	昭和 2 9 年 3 月	昭和 5 3 年 1 月
外 観		
	深谷市立川本図書館	深谷市立花園こども情報交流図書館
所 在 地	深谷市菅沼 1146 番地 1	深谷市小前田 1463 番地 2
延 床 面 積	469.50 m ²	498.83 m ²
竣 工	平成 3 年 7 月	平成 17 年 3 月
開 設 年 月	平成 3 年 7 月	昭和 55 年 6 月

開 館 時 間	深谷市立図書館・・・午前 9 時～午後 7 時 岡部・川本・花園図書館・・・午前 10 時～午後 7 時
休 館 日	・ 月曜日（祝日の場合は開館し、その翌日が休館） ・ 館内整理日（毎月第 2 金曜日。その日が国民の祝日又は他の休館日に当たるときは、第 3 金曜日。特別整理期間を設ける月は除く。） ・ 年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日） ・ その他特別整理期間
ホ ー ム ペ ー ジ	http://www.lib.city.fukaya.saitama.jp/

2. 図書館運営の基本方針

図書館は、生涯学習の場として、市民の知る権利・学習する権利を保障するため、図書・記録・その他必要な資料を収集・整理・保存する。県立図書館や他の公立図書館等のネットワークを活用し、緊密な相互協力のもとに効果的な奉仕活動を展開する。また、読書活動の支援、情報提供能力を強化することにより、市民の福祉の向上や文化教養の醸成に寄与する。

○平成29年度重点目標

(1) 図書館資料の整備・充実に努める

- ①図書資料、郷土資料及び視聴覚資料の適正な収集・整備・保存並びに郷土資料データベースの作成
- ②各館の特色を生かした資料の収集

(2) 奉仕活動の充実に努める

- ①迅速で正確な貸出処理と返却処理
- ②レファレンスサービスの強化
- ③障害者サービスの推進
- ④図書館ホームページによる各種の情報提供
- ⑤県立図書館、L・フォルテ及び市内公民館・高等教育機関等との相互協力の推進

(3) 読書活動の促進に努める

- ①おはなし会、季節行事、各種講座・講演会及び展示会等の開催
- ②子ども読書活動推進計画の推進
- ③学校図書館との連携

(4) 快適な利用環境の提供に努める

- ①利用者の安全を優先した施設の維持管理
- ②施設・設備の改修及びメンテナンス



3. 業務の概要

(1) 資料管理

①図書館の取り扱う資料（図書館資料）

図 書	一 般	一般書、参考図書、郷土資料
	児 童	児童書、絵本、紙芝居
逐次刊行物		新聞、雑誌
視聴覚資料		D V D、C D、ビデオテープ、カセットテープ
バリアフリーサービス資料		デイジー、マルチメディアデイジー、デイジー再生機器 点訳絵本、LLブック

②所蔵資料の充実

市販されている資料を選書し、購入する。寄贈本も受け入れる。また、子ども向けの図書資料や新聞資料などの充実を図る。

③管理保存

図書館資料は書架に配置して管理保存する。書架は、利用者が自由に資料に接することのできる開架書架とその立入りを禁じる閉架書架に分ける。さらに開架書架は資料の分類に応じてコーナーごとに配置する。

④図書の配列

利用者の利便性を考慮しながら、原則として日本十進分類法（N D C）に準じて配架する。なお、「大活字本」、「文庫本」及び「大型絵本」等は別コーナーに配架する。

⑤書架整理

書架上の資料が適切に配置されるよう常に配慮して、配架を調整する。重要な資料や利用頻度の低い資料等は閉架に保管する。

⑥資料整備

現物資料と所蔵データとの不一致をなくすために、照合調査（蔵書点検）を行う。また、欠本や欠号の調査を行う。汚破損資料の補修も行う。

⑦除籍

図書館の資料収容能力を考慮し、資料価値が低下した資料や保存年限を経過した資料の除籍を行う。除籍資料のうち、再利用できるものはリサイクル本として市民に提供する。

(2) 利用サービス

①館内利用

館内での閲覧については基本的には制限を設けない。ただし、視聴覚資料の館内視聴、2階閲覧席での閲覧及び一部資料の閲覧に際しては、「館内閲覧」の手続きを必要とする。

②館外利用（貸出）

市内在住・在勤・在学のかたへの資料の館外貸し出しを行う。広域利用の協定市町の住民等についてはこれに準じる。

③予約・リクエスト

貸出中の本や市内他館所蔵の資料は予約することにより利用することができる。未所蔵の資料については、リクエストを受け付け、購入又は相互貸借により、利用者への提供に努める。

④レファレンス

資料調査の希望者には、資料の紹介に努めてその調査活動の支援を行うとともに、図書館ホームページ内のレファレンスデータベースに事例を集積する。

⑤文献複写

所蔵資料については、著作権法の定める範囲において、実費による複写サービスを行う。

⑥障害者サービス（バリアフリーサービス）

市内在住・在勤・在学する視覚障害等のあるかたに、録音資料及びデージー資料、デージー再生機器の館内・館外貸し出しを行う。

⑦図書郵送貸出

図書館への来館利用が困難なかたへは、教育委員会の定めるところにより郵送による貸出サービスを行う。

⑧インターネット利用

情報化社会に対応して、インターネットに接続できる端末機を設置して利用者には開放する。

⑨資料回送

市内各館間の資料回送を行い、利用者の身近な図書館へ資料を届ける。

⑩あかちゃんタイム

小さいお子様連れのかたにも気兼ねなく図書館を利用できるよう、月1回の「あかちゃんタイム」を設定する。

(3) 行事その他

①相互貸借

図書館サービスの充実を期するため、埼玉県図書館協会加盟の県立図書館、他の公共図書館及び大学図書館等との協定に基づき、所蔵資料の相互の貸し借りを行う。

②図書館行事

乳幼児を対象とした「おはなし会」や「映画会」を定期的に行う。一般市民向けには「古典文学講座」等を開催する。なお、保健センターと協力して4か月児健診時の乳児とその保護者を対象とした絵本の読み聞かせと紹介を行う。

③ふっかちゃん手作り絵本

ブックスタート用絵本として制作した、市のイメージキャラクター「ふっかちゃん」を題材とした絵本「ふっかちゃんとあそぼ」を、4か月児健診時に読み聞かせ、配布する。

④ホームページ

ホームページ中のレファレンス検索、読書支援サービスなどを新規設定し、ホームページ活用の増進を図る。

⑤図書館ボランティアとの協働

「おはなし会」等においてボランティアに活躍してもらうため、絵本の読み聞かせ講座を開催するなど、ボランティアの育成を行う。

⑥読書会等の支援

市民の同好者の集まりである読書会等に対しては、読書会資料の配付、読書講演会行事の通知及び図書館施設の提供によって、読書活動の援助を行う。

⑦子ども読書活動推進計画

第2次深谷市子ども読書活動推進計画を策定し、子どもの読書活動の支援に取り組む。

4. 分類別蔵書数

(1) 図書資料

(平成29年3月末日現在)

分 類	一般図書	児童図書	郷土資料	合 計	比 率
総 記	7,238	1,407	634	9,279	2.5%
哲学宗教	10,342	696	302	11,340	3.0%
地理歴史	27,530	4,870	5,161	37,561	10.0%
社会科学	36,345	4,503	3,872	44,720	12.0%
自然科学	17,884	8,600	171	26,655	7.1%
工学・家庭	20,643	2,934	579	24,156	6.5%
産 業	9,695	2,228	516	12,439	3.3%
芸術・体育	27,278	3,893	681	31,852	8.5%
語学・言語	3,718	1,327	279	5,324	1.4%
文 学	99,913	32,516	817	133,246	35.7%
絵 本	—	34,864	—	34,864	9.3%
紙 芝 居	—	2,573	—	2,573	0.7%
合計	260,586	100,411	13,012	374,009	100.0%

(2) 視聴覚資料

種 別	C D	ビデオ	D V D	サットテフ°	その他	合 計
数 量	3,782	2,497	1,468	212	380	8,339

5. 平成28年度利用状況 (L・フォルテ図書室を含む)

(1) 利用登録者数

種 別	個 人	郵 送	小 計	団 体	相互貸借	合 計
数 量	38,947	25	38,972	101	141	39,214

(2) 資料別貸出点数

種 別	一般資料	児童図書	郷土資料	視聴覚資料	雑 誌	合 計
個 人	284,098	230,297	1,580	25,045	29,799	570,819
郵 送	281	1	0	0	23	305
団体・相互	2,176	1,899	48	7	163	4,293
合計	286,555	232,197	1,628	25,052	29,985	575,417

(3) 視聴覚資料貸出点数内訳

種別	C D	ビデオ	D V D	サットテフ°	その他	合 計
貸出点数	9,650	1,064	14,193	20	125	25,052

V 社会体育

1. 社会体育計画の概要

高齢化や少子化、核家族化など著しく変貌する社会環境の中で、市民の健康・体力づくりやスポーツ・レクリエーション活動に対する意欲や関心が高まっている今日、スポーツ・レクリエーション活動の果たす役割は重要であり、市民の健康増進を一層高めるために、生涯スポーツを推進することがより求められている。

そのため、本市のスポーツ・レクリエーション活動の拠点となる深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）や仙元山公園をはじめとする屋外運動施設の利用促進と、小中学校の学校体育施設など、総合的により充実した活用を図っていくことが必要である。

また、多くの市民があらゆる機会をとらえ自発的にスポーツ・レクリエーション活動の実践が行えるように、スポーツ推進委員など社会体育関係指導者の育成・充実を図り、地域のスポーツ・レクリエーション活動の積極的な推進を図っていくことが重要となっている。

市民一人ひとりの心身の健全な発達と、明るく豊かで活力に満ちた生活を実現するために健康・体力づくりの奨励や、グループ・サークルなどの自主的活動の促進など社会体育の推進に努めていくものである。

また、平成26年度から開始した市民協働事業提案制度により、市と市民の協働による「深谷市の新たなスポーツ振興」に向け事業を進めている。



2. 重点施策

生涯にわたるスポーツ・レクリエーション活動の推進

（1）スポーツ・レクリエーション活動の環境整備

◆スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実

身近な場でスポーツ・レクリエーションに親しめる環境づくりを推進するため、スポーツ・レクリエーション施設の整備・充実と利用方法の見直しを図る。

◆指導者の養成

地域におけるスポーツ・レクリエーションの指導者を育てるため、養成講座等を実施し、資質の向上と育成に努める。

（2）スポーツ・レクリエーション活動の活性化

◆スポーツ・レクリエーション活動への参加機会の充実

全国のランナーを対象とし、市民がスポーツ・レクリエーション活動に積極的に参加する機会の充実を図るため、ふかやシティハーフマラソンを開催する。

◆東京オリンピック・パラリンピックを契機とした活動

2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックに向けてバレーボール競技キャンプ誘致を進めるとともに、小学校体育授業へスポーツに精通した指導者の派遣やスポーツ教室の開催などを行う深谷アスリートクラブ事業を推進する。

◆スポーツ・レクリエーション関係団体の活動支援

体育協会やレクリエーション協会、スポーツ少年団などの社会体育関係団体との制の充実に努める。さらに傘下の各加盟団体の連携をより一層深めていくための支援を行い、各種のスポーツ・レクリエーション活動の活性化と情報の提供を推進する。

◆スポーツ推進委員との連携の強化

市内各地域のスポーツ・レクリエーションの推進と地域住民の交流を深めるために、スポーツ推進委員との連携を強化し、地域住民のニーズに応えたスポーツ・レクリエーション教室の開催を促進する。

3. 平成29年度社会体育関係事業

主 な ス ポ ー ツ ・ レクリエーション教室	弓道教室、登山教室、ソフトテニス教室、卓球教室、テニス教室、太極拳教室、少林寺拳法教室、剣道教室、ソフトボール教室、合気道教室、グラウンド・ゴルフ教室、ボールルームダンス教室、3B体操教室、ペタンク教室、レクリエーション指導者講習会、ふっかちゃんジュニアスポーツフェスタ、深谷アスリート教室（バレーボール・陸上・タグラグビー・ソフトテニス・ミニバスケットボール・バスケットボール・卓球）
主 な ス ポ ー ツ ・ レクリエーション大会	深谷ラグビーフェスティバル、市民卓球大会、市民サッカー大会、市民バレーボール大会、市民ゴルフ大会、市民ソフトボール大会、市民クライミング大会、市民テニス大会、市民剣道大会、市民柔道大会、市民野球大会、市民バドミントン大会、市民水泳大会、市民弓道大会、市民少林寺拳法大会、市民太極拳大会、市民ソフトテニス大会、市民ソフトバレーボール大会、市民バスケットボール大会、市民ラグビーフットボール大会、タグラグビー大会、市民スキー大会、市民空手道大会、市民ハイキング、市民ペタンク大会、室内ペタンク大会、市民グラウンド・ゴルフ大会、市民マラソン大会、歩け歩け大会、ボールルームダンス大会、レクリエーションフェア、東日本実業団対抗駅伝競走大会、日本スリーデーマーチ、ふかやシティハーフマラソン



4. 社会体育施設の概要

(1) 深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）



① 施設の概要

名 称 深谷市総合体育館（深谷ビッグタートル）
 電 話 ・ F A X （電話）048-572-3000 （FAX）048-572-3302
 所 在 地 深谷市上野台 2568 番地
 開 館 平成 5 年 11 月 1 日
 敷 地 面 積 20,158 m²
 延 床 面 積 12,731 m²
 施 設 規 模



- メインアリーナ：2,627.1 m²（63m×41.7m）
～バレーボール 3 面・バスケットボール 3 面・バドミントン 12 面～
- サブアリーナ：770 m²（35m×22m）
～バレーボール 1 面・バスケットボール 1 面・バドミントン 3 面～
- 武道場：830 m²（30m×18m）
～柔道場 353 m²・剣道場 306 m²・弓道場 210 m²～
- トレーニング室：416.5 m²
- 研修会議室：156 m²
- ランニングコース：1 周約 240m・幅約 2 m
- 卓球コーナー：93m²（卓球台 4 台）
- その他（更衣室・放送室・控室・記者室・ラウンジなど）

② 利用案内

休 館 日	年末年始（12月28日～1月4日）※ただし、臨時休館あり
開 館 時 間	9：00～22：00（日曜日は9：00～21：00）
受 付 時 間	8：30～20：00（ただし、日曜日は8：30～19：00）
利 用 許 可	・全面専用利用申請の場合、利用日の6ヶ月前から7日前まで ・個人利用は、当日利用券を購入（利用状況により個人利用できない場合あり）

(2) その他の社会体育施設一覧

施設名	所在地	施設の概要
深谷市民体育館	本住町 17-2	アリーナ 1,116 m ² (バレーボール2面・バスケットボール2面・ バドミントン6面・卓球12面)
深谷生涯学習センター体育室	仲町 20-2	アリーナ 720.09 m ² (バレーボール2面・ミニバス2面・ バドミントン3面)
明戸生涯学習センター体育室	蓮沼 258	アリーナ 901.7 m ² (バレーボール2面・バスケットボール1面・ バドミントン3面)
上柴生涯学習センター体育室	上柴町西 4-2-14	アリーナ 885.79 m ² (バレーボール2面・ミニバス2面・ バドミントン4面)
豊里公民館体育室	新戒 639-1	アリーナ 728.31 m ² (バレーボール2面・ミニバス2面・ バドミントン3面)
南公民館体育室	宿根 645-1	アリーナ 661.2 m ² (バレーボール2面・バスケットボール1面・ バドミントン2面)
大寄公民館体育室	起会 84-1	アリーナ 672.18 m ² (バレーボール1面・バスケットボール1面・ バドミントン3面)
藤沢生涯学習センター体育室	人見 1967-1	アリーナ 797.06 m ² (バレーボール2面・バスケットボール1面・ バドミントン4面)
幡羅生涯学習センター体育室	東方 1370	アリーナ 875 m ² (バレーボール2面・バスケットボール1面・ バドミントン3面)
花園生涯学習センター体育室	小前田 2345-1	アリーナ 767 m ² (バレーボール2面、バドミントン4面・ バスケットボール2面)
渋沢栄一記念館・八基公民館多目的室	下手計 1204	アリーナ 590.91 m ² (バレーボール1面・バスケットボール1面・ バドミントン3面)
仙元山公園	上野台 2565	多目的広場(南) 8,443 m ² (北) 14,000 m ² 野球場(両翼 92m・センター 105m) 8,150 m ² 人工芝テニスコート6面 クレーテニスコート4面
仙元山公園陸上競技場	上野台 2569	フィールド：トラック1周 400m×8コース (準天候型舗装) インフィールド：天然芝グラウンド 走り幅跳び・走り高跳び・やり投げ・サッカー等 管理棟：2階建(会議室・トイレ・更衣室他)
東公園多目的広場	幡羅町 1-14-1	敷地面積 20,905 m ² 球場面積 10,600 m ² (野球場)
上柴中央公園野球場	上柴町西 4-1-1	敷地面積 28,418 m ² 球場面積 10,040 m ² (両翼 90m・センター102m)
利根川緑地公園(豊里グラウンド)	深谷市中瀬地内 (利根川河川敷)	多目的広場面積 17,347 m ² (ソフトボール場2面・サッカー場1面)
利根川緑地公園(高島グラウンド)	深谷市高島地内 (利根川河川敷)	多目的広場面積 11,627 m ² (ソフトボール1面・サッカー場1面)

施設名	所在地	施設の概要
利根川緑地公園(中瀬ソフトボール場)	深谷市中瀬地内 (利根川河川敷)	多目的広場面積 25,728 m ² (ソフトボール場 4 面)
柴崎公園多目的広場	上柴町東 2-24-1	敷地面積 15,755 m ² 広場面積 6,890 m ² (ソフトボール 1 面)
東方公園多目的広場	東方町 2-23	敷地面積 16,374 m ² 広場面積 7,360 m ² (ソフトボール 1 面)
明戸農村公園多目的広場	上増田 1055-2	敷地面積 19,670 m ² 広場面積 8,325 m ² (野球場 1 面・右翼 76m・左翼 90m)
幡羅生涯学習センター多目的広場	東方 1370	広場面積 2,272 m ²
折之口ふれあい公園多目的広場	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² ソフトボール 1 面 5,024 m ²
北部運動公園多目的広場	起会 162-1	敷地面積 9500 m ²
北部運動公園野球場	起会 162-1	敷地面積 35,592 m ² 両翼 90m・センター 105m 球場面積 10,660 m ²
陸上競技場夜間照明施設	上野台 2569	陸上競技 (サッカー・ラグビー 1 面) 照明面積 10,000 m ² 平均 413LX・最大 550LX・最低 200LX
仙元山野球場夜間照明施設	人見 1134	野球場 1 面 8,150 m ² 平均 263LX・内野 639LX/外野 316LX
仙元山テニスコート夜間照明施設	上野台 2571	テニスコート 1 面 平均 748LX
上柴中央公園夜間照明施設	上柴町西 4-1-1	野球場 1 面 10,040 m ² 平均 276LX・内野 700LX/外野 300LX
深谷小学校屋外運動場夜間照明施設	仲町 19-1	ソフトボール 2 面 照明面積 9,000 m ² A = 40 灯・B = 32 灯・平均 238LX
八基小学校屋外運動場夜間照明施設	下手計 1300	ソフトボール 1 面 照明面積 5,672 m ² 24 灯・102LX
深谷西小学校屋外運動場夜間照明施設	栄町 14-18	ソフトボール 1 面 照明面積 4,500 m ² 26 灯・160LX
東方公園夜間照明施設	東方町 2-23	ソフトボール 1 面 7,360 m ² 全照明平均 232LX・内野 370LX/外野 210LX 半照明平均 123LX
明戸農村公園夜間照明施設	上増田 1055-2	野球場 1 面 8,325 m ² 全照明 = 69 灯・内野 500LX/外野 206LX 半照明 = 32 灯・内野 394LX/外野 103LX
北部運動公園夜間照明施設	起会 162-1	野球場 1 面 10,660 m ² 全照明 = 96 灯・内野 650LX/外野 310LX
常盤公園テニスコート	常盤町 58-2	敷地面積 1,970 m ² グリーンダストコート 3 面

施設名	所在地	施設の概要
幡羅生涯学習センターテニスコート	東方 1370	ハードコート 2 面 1,666 m ²
折之口ふれあい公園テニスコート	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² 人工芝コート 2 面 1,400 m ²
仙元荘ゲートボール場	上野台 2547	敷地面積 3,300 m ² ゲートボール 4 面 1,200 m ²
柴崎公園ゲートボール場	上柴町東 2-24-1	敷地面積 15,755 m ² ゲートボール 2 面 1,050 m ² (42m×25m)
北部運動公園ゲートボール場	起会 162-1	敷地面積 27,868 m ² ゲートボール 2 面 600 m ² (40m×24m)
折之口ふれあい公園ゲートボール場	折之口 149-1	敷地面積 16,029 m ² ゲートボール 2 面 1,040 m ²
すぱーく深谷	沼尻 484-1	敷地面積 4,453 m ² 建物面積 ・屋内ゲートボール場床面積 1,100.21 m ² ・クラブハウス床面積 79.86 m ² 屋内ゲートボール場 2 面 (全天候型・照明施設)
すぱーく岡部	後榛沢 972-1	敷地面積 10,832.80 m ² 建物面積 ・屋内ゲートボール場床面積 1,100.21 m ² ・クラブハウス床面積 79.86 m ² 屋内ゲートボール場 2 面 (照明施設)
深谷グリーンパーク アクアパラダイス・パティオ	榎合 763	敷地面積 53,817 m ² 波のプール・渚プール・流れるプール こどもプール・スピニングスライダー (2 基) ウエットサウナ・ドライサウナ ジャグジー・競泳用 25m プール
岡部 B&G 海洋センター	山河 1300	敷地面積 4,753 m ² 建物面積 体育館 1,103 m ² アリーナ 726 m ² (バレーボール 2 面・バスケットボール 2 面・ バドミントン 3 面) ミーティングルーム 63 m ² プール 738 m ² (25m プール、幼児用) 休止
中瀬グラウンド	中瀬 726-1	多目的広場 敷地面積 5,000 m ²
岡部中央グラウンド	山河 1-1	敷地面積 34,862 m ² (ナイター設備 2 基) 野球場 2 面、ソフトボール 4 面、サッカー 1 面
岡部東グラウンド	普済寺 63-1	敷地面積 12,580 m ² 野球場 1 面、ソフトボール 1 面
岡部中央公園	山河 1318	敷地面積 10,575 m ² 人工芝テニスコート 2 面 1,510.30 m ²
川本天神グラウンド	菅沼 1055	敷地面積 31,276 m ² 人工芝テニスコート 2 面、野球場 多目的グラウンド (サッカー等)
白草台運動公園	白草台 1565-3	敷地面積 48,583 m ² 野球場、テニスコート (ハードコート) 3 面

施設名	所在地	施設の概要
川本グラウンド・ゴルフ場	本田 501 番地先	敷地面積 40,000 m ² 芝コート 8 面、土コート
上本田グラウンド	本田 4892-1	敷地面積 18,038 m ² 野球場 1 面
植松グラウンド	本田 50 番地先	敷地面積 20,000 m ²
川本農業者トレーニングセンター	畠山 1577	敷地面積 3,976.00 m ² 建物面積 1,228.84 m ² アリーナ 952.00 m ²
花園総合運動公園	小前田 2299-1	敷地面積 46,768 m ² 多目的広場 12,800 m ² (300mトラック、サッカー場、ソフトボール 2 面) 野球場 9,900 m ² テニスコート 1,592 m ² (人工芝ナイター設備あり) ゲートボール場 582 m ² 休止
花園農業者トレーニングセンター	小前田 2299	アリーナ 936 m ² バスケットボール 2 面、バレーボール 2 面 バドミントン 3 面
花園水辺公園	小前田 396-11 (荒川河川敷)	全体面積 27,656 m ² 多目的ゾーン 9,700 m ²

◆各施設の予約は「深谷市公共施設予約システム」からできます。（一部施設は除く）

深谷市公共施設予約システム：<http://www.city.fukaya.saitama.jp/shisetsu/yoyaku/1391748906315.html>



平成 29 年度教育要覧 深谷市の教育

発 行 深谷市教育委員会

〒366-0823

埼玉県深谷市本住町17番3号

TEL (048) 574-5811 (代)

FAX (048) 574-1744

U R L <http://www.city.fukaya.saitama.jp/>

E - m a i l kyouiku@city.fukaya.saitama.jp (教育委員会教育総務課)

